

# 令和8年第2回（3月）上越市議会定例会

## 農政建設常任委員会資料

案件番号	案 件 名	提 出 課	ページ
報告第3号	専決処分した事件の承認について(令和7年度上越市一般会計補正予算(専第7号))	道路課	1~2
議案第14号	令和7年度上越市一般会計補正予算(第7号)	道路課ほか	3~8
議案第36号	上越市法定外公共物管理条例及び上越市準用河川管理条例の一部改正について	道路課 河川海岸砂防課	9~10
議案第43号	財産の取得について(ロータリ除雪車)	契約検査課 道路課	11~12
議案第44号	財産の取得について(ロータリ除雪車)		13~14
議案第45号	財産の取得について(ロータリ除雪車)		15~16
議案第46号	財産の取得について(除雪ドーザ16t級)		17~18
議案第47号	財産の取得について(除雪ドーザ16t級)		19~20
議案第48号	財産の取得について(除雪ドーザ11t級)		21~22
議案第49号	財産の取得について(除雪ドーザ11t級)		23~24
議案第50号	財産の取得について(除雪ドーザ11t級)		25~26
議案第51号	財産の取得について(除雪ドーザ11t級)		27~28
議案第52号	財産の取得について(除雪ドーザ11t級)		29~30
議案第53号	財産の取得について(小形除雪車1.3m級)		31~32
議案第5号	令和8年度上越市一般会計予算	都市整備課ほか	33~84

## 予算案件における目標の記載について

全ての事業を義務的事業、経常的事業、政策的事業に分類し、下記のように整理して記載しています。

- 1 義務的事業…生活保護など扶助費全般や戸籍事務、国県事業等への負担など
  - ・法定受託事務など法令等の目的・趣旨と事業の目的と合致しており、市民に安定的にサービスを提供することが目標であるため記載しません。
  - ・市の政策としてサービスを付加する場合は記載しています。
- 2 経常的事業…財務会計事務、契約事務、庶務事務、施設の維持管理運営など
  - ・行政運営に必要不可欠な財務会計事務などの内部管理事務については、滞りなく実施することが目標であるため記載しません。
  - ・施設の維持管理運営は、適切な維持管理と運営により市民等が安全安心に利用できることが目標であるため記載しません。ただし、施設の付加価値を高めるための取組を実施し、入館者や利用者数、利用件数や実施件数などを設定できる場合は目標を記載しています。
- 3 政策的事業…上記以外の事業
  - ・全ての事業について目標を記載しています。

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	報告第3号
提出課	道路課

歳出科目 (P170～P171)	8款2項5目	除雪費
------------------	--------	-----

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
除雪費	4,817,225	1,600,000	6,417,225

主な補正財源		主な経費	
一般財源	1,600,000	委託料	1,600,000

【補正理由】

1月下旬から断続的に続く寒波により、市内の広い範囲で大雪に見舞われ、市道除排雪経費に更なる不足が見込まれることから、補正予算を専決処分したもの（2月10日専決）

【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
委託料	4,051,292	1,600,000	5,651,292
市道除排雪委託料	4,017,448	1,600,000	5,617,448

【実施内容】

- ・市道除排雪委託料

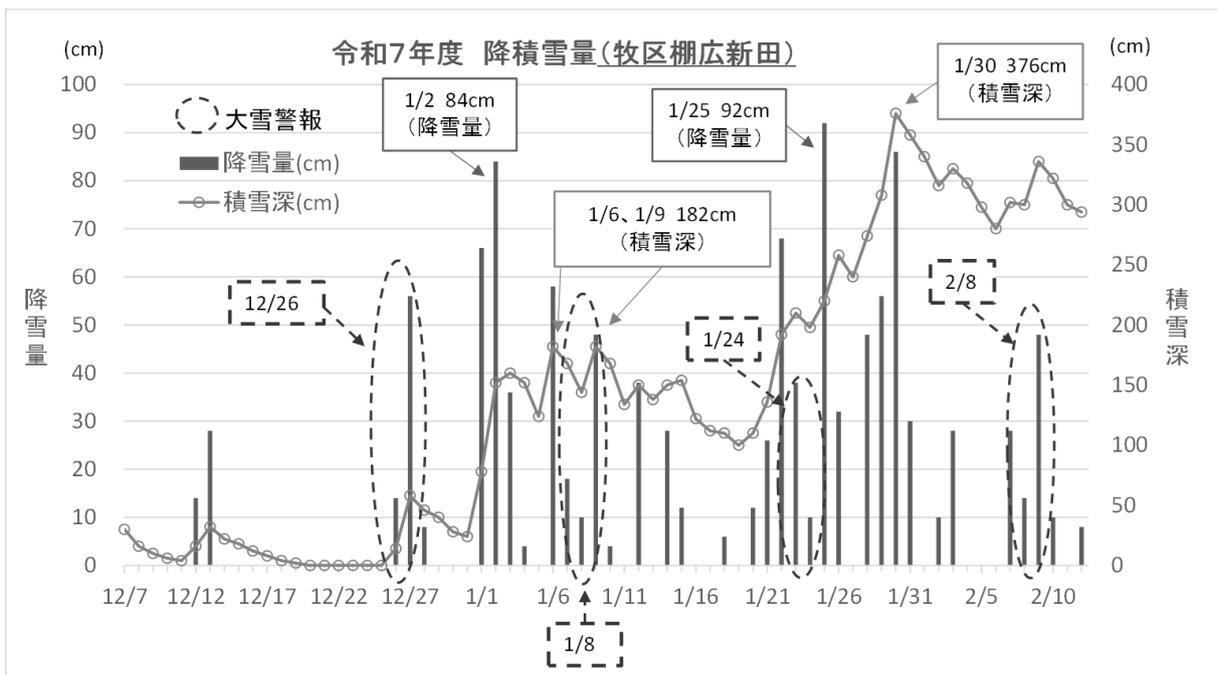
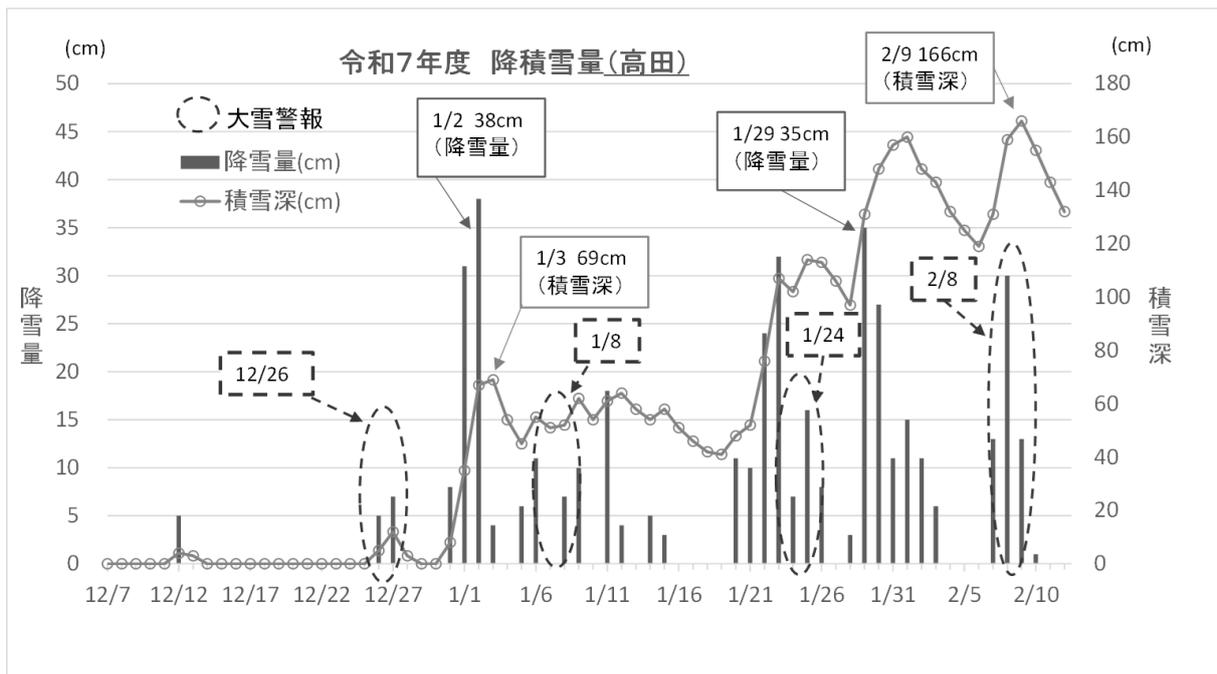
地区	委託名	補正額	変更内容
市内一円	市道除排雪委託料	1,600,000	市道等の除排雪作業費の増

- ・降積雪量と除排雪委託料の過年度実績

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
最大積雪深 (cm)	23	249	153	110	58	138	166
累計降雪量 (cm)	74	648	451	189	288	385	435
除排雪委託料 (百万円)	1,406	5,393	3,991	3,995	2,685	4,933	5,618

※ 最大積雪深、累計降雪量は高田特別地域気象観測所の記録、令和7年度は2月12日時点の値

※ 除排雪委託料は決算額、令和7年度は見込額



所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第14号
提出課	道路課

歳出科目 (P72～P73)	8款2項3目	道路新設改良費
----------------	--------	---------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
道路整備事業	1,350,780	△134,384	1,216,396

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△70,673	委託料	△49,687
市債	△56,000	工事請負費	△80,012
一般財源	△7,711	負担金補助及び交付金	△1,925
		補償、補填及び賠償金	
			△2,760

【補正理由】

社会資本整備総合交付金等の交付決定を受け、事業費を減額するもの

【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
委託料	410,138	△49,687	360,451
測量設計委託料	124,522	△49,687	74,835
工事請負費	880,377	△80,012	800,365
道路改良等工事	600,680	△80,012	520,668
負担金補助及び交付金	7,800	△1,925	5,875
合併施工負担金	7,800	△1,925	5,875
補償、補填及び賠償金	46,037	△2,760	43,277
物件移転補償料	46,037	△2,760	43,277

路線別内訳

地区	路線名	補正額	変更内容
合併前 上越市	三ツ橋三田新田線 (都市計画道路黒井藤野新田線)	△42,000	補助金の決定額が当初の見込みを下回ったことによる減
	北本町春日山町線 (加賀踏切)	△11,400	
	夷浜国道団地3号線	△6,815	交付金の決定額が当初の見込みを下回ったことによる減
	夷浜南線	△5,829	
	五智居多ヶ浜シーサイドライン線	△4,160	

地 区	路線名	補正額	変更内容
合併前 上越市	南高田町 2 号線	△9,714	交付金の決定額が当初の見込みを下回ったことによる減
	東城町三丁目 22 号線	△4,914	
	東城町三丁目 24 号線	△3,129	
	東城町三丁目 25 号線	△3,573	
	鴨島団地 39 号線	△7,218	
	元屋敷米岡線	△28,925	
柿崎区	馬正面川井線	△1,925	
名立区	美度山線	△4,782	

歳出科目 (P72~P75)	8款2項5目	除雪費
----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
消融雪施設管理費	374,491	△20,937	353,554

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	3,340	工事請負費	△20,937
市債	△23,500		
一般財源	△777		

【補正理由】

社会資本整備総合交付金及び特定防衛施設周辺整備調整交付金の交付決定を受け、事業費を減額するとともに、決算見込みにあわせて予算を整理するもの

○ 消雪パイプリフレッシュ工事 △20,937

【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
工事請負費	238,211	△20,937	217,274
消雪パイプリフレッシュ工事	164,397	△20,937	143,460

工事請負費内訳

地区	路線名	補正額	変更内容
合併前 上越市	表寺線ほか	△8,180	交付金の決定額が当初の見込みを下回ったことによる減
中郷区	稻荷山坂本線	△12,757	決算見込みにあわせ事業費を減

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P74~P75)	8款7項1目	住宅管理費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
空き家等管理促進事業	26,628	△5,297	21,331

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△62	負担金補助及び交付金	
県支出金	△4,773		△5,297
一般財源	△462		

【補正理由】

空き家定住促進利活用補助金及び定住促進生家等利活用補助金において、県の補助金の対象となる申請が当初の見込みを下回ったことから事業費を減額するもの

【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	21,464	△5,297	16,167
空き家定住促進利活用補助金	7,600	△1,897	5,703
定住促進生家等利活用補助金	6,400	△3,400	3,000

補助金内訳

区分	予算 件数	見込 件数	補正前	補正額	補正後
空き家定住促進利活用補助金	6	8	7,600	△1,897	5,703
定住促進生家等利活用補助金	5	4	6,400	△3,400	3,000

歳出科目 (P74~P75)	8款7項2目	住宅整備費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
公営住宅整備事業	86,470	△51,166	35,304

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△25,583	委託料	△891
市債	△25,600	工事請負費	△50,275
一般財源	17		

#### 【補正理由】

社会資本整備総合交付金の交付決定を受け、事業費を減額するとともに、決算見込みにあわせて予算を整理するもの

#### 【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
委託料	5,126	△891	4,235
設計業務委託料	4,686	△891	3,795
工事請負費	81,344	△50,275	31,069
公営住宅改修工事	81,344	△50,275	31,069

#### 設計業務委託料内訳

地区	委託名	補正額	変更内容
安塚区	市営津止住宅 排水管改修工事設計業務委託	△891	入札差金による減

#### 公営住宅改修工事内訳

地区	工事名	補正額	変更内容
合併前 上越市	市営子安住宅2号棟 屋上防水改修工事	△49,863	国の交付金の決定額に合わせ、工事内容を見直したことによる減
	市営南本町住宅5・6号棟 LED化工事	△1,144	国の交付金の決定額に合わせ、工事箇所を見直したことによる減
	市営安江住宅1・2・3号棟 LED化工事	732	LED器具の価格高騰による増

歳出科目 (P76~P77)	8款7項3目	住宅対策費
----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
木造住宅耐震化支援事業	14,960	△3,991	10,969

主な補正財源		主な経費	
国庫支出金	△1,658	委託料	△1,991
県支出金	△1,035	負担金補助及び交付金	
一般財源	△1,298		△2,000

【補正理由】

木造住宅耐震化支援事業に係る申請が当初の見込みを下回ったことから、事業費を減額するもの

【補正内容】

区分	補正前	補正額	補正後
委託料	8,360	△1,991	6,369
木造住宅耐震診断委託料	8,360	△1,991	6,369
負担金補助及び交付金	6,600	△2,000	4,600
木造住宅耐震化支援補助金	6,600	△2,000	4,600

木造住宅耐震化支援事業内訳

区分	予算 件数	見込 件数	補正前	補正額	補正後
耐震診断	80	61	8,360	△1,991	6,369
耐震改修（全体改修）	2	2	2,800	0	2,800
耐震改修（部分改修）	1	0	800	△800	0
耐震シェルター等	5	1	1,500	△1,200	300
除却	5	5	1,500	0	1,500

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	議案第36号
提 出 課	道路課・河川海岸砂防課

## 上越市法定外公共物管理条例及び上越市準用河川管理条例 の一部改正について

### 1 改正理由

県条例の一部改正に準じ、法定外公共物及び準用河川区域内の土地から生ずる石、土砂等の採取料を改定するもの

### 2 改正内容

- (1) 第1条の規定による上越市法定外公共物管理条例の改正内容  
採取料の額を改める。(別表第2関係)
- (2) 第2条の規定による上越市準用河川管理条例の改正内容  
採取料の額を改める。(別表第3関係)
- (3) この条例の施行の日以後の徴収に係る採取料について適用し、同日前の徴収に係る採取料については、なお従前の例による。(附則第2項関係)

### 3 施行期日

令和8年4月1日

### 4 上越市法定外公共物管理条例及び上越市準用河川管理条例改正案新旧対照表

- (1) 第1条の規定による上越市法定外公共物管理条例の一部改正

(太枠部分が改正箇所)

改 正 案				改 正 前			
別表第2 (第17条関係)				別表第2 (第17条関係)			
	種類	単位	金額		種類	単位	金額
石	長径8cm以上30cm未満のもの	1 m <sup>3</sup>	200円	石	長径8cm以上30cm未満のもの	1 m <sup>3</sup>	175円
	長径30cm以上45cm未満のもの	1個	75円		長径30cm以上45cm未満のもの	1個	65円
	長径45cm以上60cm未満のもの	1個	150円		長径45cm以上60cm未満のもの	1個	130円
	長径60cm以上90cm未満のもの	1個	4,500円		長径60cm以上90cm未満のもの	1個	3,940円
	長径90cm以上120cm未満のもの	1個	9,015円		長径90cm以上120cm未満のもの	1個	7,895円
	長径120cm以上のもの	1個	9,015円に長径が120cmを超える15cmまでごとに901円を加算した額		長径120cm以上のもの	1個	7,895円に長径が120cmを超える15cmまでごとに789円を加算した額
	砂利	1 m <sup>3</sup>	220円		砂利	1 m <sup>3</sup>	195円
かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	200円	かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	175円		
土砂	1 m <sup>3</sup>	170円	土砂	1 m <sup>3</sup>	150円		
その他のもの	その都度市長が定める額			その他のもの	その都度市長が定める額		

改 正 案	改 正 前
備考 略	備考 略

(2) 第 2 条の規定による上越市準用河川管理条例の一部改正

(太枠部分が改正箇所)

改 正 案	改 正 前																														
別表第 3 (第 10 条関係)	別表第 3 (第 10 条関係)																														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂利</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">220円</td> </tr> <tr> <td>かき込み砂利</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">200円</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">170円</td> </tr> <tr> <td>その他のもの</td> <td colspan="2">その都度市長が定める額</td> </tr> </tbody> </table>	種類	単位	金額	砂利	1 m <sup>3</sup>	220円	かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	200円	土砂	1 m <sup>3</sup>	170円	その他のもの	その都度市長が定める額		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂利</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">195円</td> </tr> <tr> <td>かき込み砂利</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">175円</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>1 m<sup>3</sup></td> <td style="text-align: right;">150円</td> </tr> <tr> <td>その他のもの</td> <td colspan="2">その都度市長が定める額</td> </tr> </tbody> </table>	種類	単位	金額	砂利	1 m <sup>3</sup>	195円	かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	175円	土砂	1 m <sup>3</sup>	150円	その他のもの	その都度市長が定める額	
種類	単位	金額																													
砂利	1 m <sup>3</sup>	220円																													
かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	200円																													
土砂	1 m <sup>3</sup>	170円																													
その他のもの	その都度市長が定める額																														
種類	単位	金額																													
砂利	1 m <sup>3</sup>	195円																													
かき込み砂利	1 m <sup>3</sup>	175円																													
土砂	1 m <sup>3</sup>	150円																													
その他のもの	その都度市長が定める額																														
備考 略	備考 略																														

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第43号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(ロータリ除雪車)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 株式会社山崎サービス  
(上越市大字上源入 338 番地 1)
- (3) 契約金額 65,978,000 円  
(入札金額) (59,980,000 円)
- (4) 予定価格 68,026,200 円  
(税抜価格) (61,842,000 円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 制限付き一般競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額 (円)	
1	(株)橋詰商会	60,600,000	
2	(株)山崎サービス	59,980,000	○

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

大島区で使用するロータリ除雪車 2.6m級 1 台を取得する。

平成 20 年度に取得したロータリ除雪車が取得から 17 年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

新潟トランス株式会社製 NR304

・仕様

定格出力	261kW
最大除雪幅	2.60m
最大除雪高	1.70m
最大投雪距離	45m
最高走行速度	49km/時
最小回転半径	6.80m
全長	7.465m
全幅	2.60m
全高	3.57m
車両重量	14.16 t
乗車定員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第44号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(ロータリ除雪車)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 株式会社山崎サービス  
(上越市大字上源入 338 番地 1)
- (3) 契約金額 66,418,000 円  
(入札金額) (60,380,000 円)
- (4) 予定価格 68,026,200 円  
(税抜価格) (61,842,000 円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 制限付き一般競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額 (円)	
1	(株)橋詰商会	60,600,000	
2	(株)山崎サービス	60,380,000	○

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

柿崎区で使用するロータリ除雪車 2.6m級 1 台を取得する。

平成 8 年度に取得したロータリ除雪車が取得から 29 年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

新潟トランス株式会社製 NR304

・仕様

定格出力	261kW
最大除雪幅	2.60m
最大除雪高	1.70m
最大投雪距離	45m
最高走行速度	49km/時
最小回転半径	6.80m
全長	7.465m
全幅	2.60m
全高	3.57m
車両重量	14.16 t
乗車定員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第45号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(ロータリ除雪車)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 株式会社橋詰商会  
(上越市中郷区板橋470番地1)
- (3) 契約金額 66,660,000円  
(入札金額) (60,600,000円)
- (4) 予定価格 68,026,200円  
(税抜価格) (61,842,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 制限付き一般競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(株)橋詰商会	60,600,000	○
2	(株)山崎サービス	60,780,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

板倉区で使用するロータリ除雪車 2.6m級 1 台を取得する。

平成 18 年度に取得したロータリ除雪車が取得から 19 年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社N I C H I J O製 H T R 3 0 8 A

・仕様

定 格 出 力	270kW
最大除雪幅	2.60m
最大除雪高	1.70m
最大投雪距離	46m
最高走行速度	49km/時
最小回転半径	6.10m
全 長	7.95m
全 幅	2.60m
全 高	3.57m
車 両 重 量	13.85 t
乗 車 定 員	2 名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第46号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ16t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 25,520,000円  
(入札金額) (23,200,000円)
- (4) 予定価格 36,410,000円  
(税抜価格) (33,100,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	26,200,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	23,200,000	○
5	(株)サンコー	24,570,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	26,700,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	29,800,000	
9	(株)橋詰商会	29,290,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	26,319,000	
12	北陸建機(株)	25,200,000	
13	(株)山崎サービス	27,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

大島区で使用する除雪ドーザ16 t級1台を取得する。

平成10年度に取得した除雪ドーザが取得から27年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA320-8

・仕様

定 格 出 力	127kW
最 大 除 雪 幅	3.75m
プ ラ ウ 形 状	汎用プラウ付き
最 高 走 行 速 度	38km/時
最 小 回 転 半 径	5.38m
全 長	7.81m
全 幅	2.59m
全 高	3.46m
車 両 重 量	16.25 t
乗 車 定 員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第47号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ16t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 25,520,000円  
(入札金額) (23,200,000円)
- (4) 予定価格 36,410,000円  
(税抜価格) (33,100,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	26,000,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	23,200,000	○
5	(株)サンコー	24,570,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	26,700,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	28,500,000	
9	(株)橋詰商会	27,990,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	26,234,000	
12	北陸建機(株)	25,200,000	
13	(株)山崎サービス	27,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

三和区で使用する除雪ドーザ16 t 級1台を取得する。

平成9年度に取得した除雪ドーザが取得から28年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA 3 2 0 - 8

・仕様

定 格 出 力	127kW
最 大 除 雪 幅	3.75m
プ ラ ウ 形 状	汎用プラウ付き
最 高 走 行 速 度	38km/時
最 小 回 転 半 径	5.38m
全 長	7.81m
全 幅	2.59m
全 高	3.46m
車 両 重 量	16.25 t
乗 車 定 員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第48号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ11t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 19,250,000円  
(入札金額) (17,500,000円)
- (4) 予定価格 28,270,000円  
(税抜価格) (25,700,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	20,600,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	17,500,000	○
5	(株)サンコー	20,980,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	20,900,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	18,800,000	
9	(株)橋詰商会	18,390,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	21,637,000	
12	北陸建機(株)	19,500,000	
13	(株)山崎サービス	23,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

合併前上越市で使用する除雪ドーザ11t級1台を取得する。

平成15年度に取得した除雪ドーザが取得から22年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA200-8Y

・仕様

定 格 出 力	94kW
最 大 除 雪 幅	3.45m
プ ラ ウ 形 状	汎用プラウ付き
最 高 走 行 速 度	34.5km/時
最 小 回 転 半 径	5.10m
全 長	7.27m
全 幅	2.38m
全 高	3.41m
車 両 重 量	11.66 t
乗 車 定 員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第49号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ11t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 19,250,000円  
(入札金額) (17,500,000円)
- (4) 予定価格 28,270,000円  
(税抜価格) (25,700,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	20,600,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	17,500,000	○
5	(株)サンコー	20,980,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	20,900,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	18,800,000	
9	(株)橋詰商会	18,390,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	21,659,000	
12	北陸建機(株)	19,500,000	
13	(株)山崎サービス	23,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

合併前上越市で使用する除雪ドーザ11t級1台を取得する。

平成17年度に取得した除雪ドーザが取得から20年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA200-8Y

・仕様

定格出力	94kW
最大除雪幅	3.45m
プラウ形状	汎用プラウ付き
最高走行速度	34.5km/時
最小回転半径	5.10m
全長	7.27m
全幅	2.38m
全高	3.41m
車両重量	11.66t
乗車定員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第50号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ11t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 19,250,000円  
(入札金額) (17,500,000円)
- (4) 予定価格 28,270,000円  
(税抜価格) (25,700,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	20,600,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	17,500,000	○
5	(株)サンコー	20,980,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	20,900,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	18,800,000	
9	(株)橋詰商会	18,390,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	無効	
12	北陸建機(株)	19,500,000	
13	(株)山崎サービス	23,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

大潟区で使用する除雪ドーザ11 t級1台を取得する。

平成14年度に取得した除雪ドーザが取得から23年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA200-8Y

・仕様

定格出力	94kW
最大除雪幅	3.45m
プラウ形状	汎用プラウ付き
最高走行速度	34.5km/時
最小回転半径	5.10m
全長	7.27m
全幅	2.38m
全高	3.41m
車両重量	11.66 t
乗車定員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第51号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ11t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 19,250,000円  
(入札金額) (17,500,000円)
- (4) 予定価格 28,270,000円  
(税抜価格) (25,700,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	20,100,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	17,500,000	○
5	(株)サンコー	20,980,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	20,900,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	18,800,000	
9	(株)橋詰商会	18,390,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	21,623,000	
12	北陸建機(株)	19,500,000	
13	(株)山崎サービス	23,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

大潟区で使用する除雪ドーザ11 t級1台を取得する。

平成13年度に取得した除雪ドーザが取得から24年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA200-8Y

・仕様

定 格 出 力	94kW
最 大 除 雪 幅	3.45m
プ ラ ウ 形 状	汎用プラウ付き
最 高 走 行 速 度	34.5km/時
最 小 回 転 半 径	5.10m
全 長	7.27m
全 幅	2.38m
全 高	3.41m
車 両 重 量	11.66 t
乗 車 定 員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第52号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(除雪ドーザ11t級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 コマツカスタマーサポート株式会社  
東京関越カンパニー新潟事業部上越支店  
(上越市頸城区下吉字本田77番地15)
- (3) 契約金額 19,250,000円  
(入札金額) (17,500,000円)
- (4) 予定価格 28,270,000円  
(税抜価格) (25,700,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	頸北建機(有)	20,600,000	
4	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	17,500,000	○
5	(株)サンコー	20,980,000	
6	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
7	新星建機工業(株) 上越支店	20,900,000	
8	日本キャタピラー(同) 上越営業所	18,855,000	
9	(株)橋詰商会	18,150,000	
10	日立建機日本(株) 上越営業所	辞退	
11	F L A G(株)	21,793,000	
12	北陸建機(株)	19,500,000	
13	(株)山崎サービス	23,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

中郷区で使用する除雪ドーザ11 t級1台を取得する。

平成22年度に取得した除雪ドーザが取得から15年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社小松製作所製 WA200-8Y

・仕様

定格出力	94kW
最大除雪幅	3.45m
プラウ形状	汎用プラウ付き
最高走行速度	34.5km/時
最小回転半径	5.10m
全長	7.27m
全幅	2.38m
全高	3.41m
車両重量	11.66 t
乗車定員	2名

所管委員会	農政建設常任委員会
関係案件	議案第53号
提出課	契約検査課・道路課

財産の取得について  
(小形除雪車1.3m級)

- (1) 入札年月日 令和8年1月20日
- (2) 仮契約の相手方 株式会社橋詰商会  
(上越市中郷区板橋470番地1)
- (3) 契約金額 29,700,000円  
(入札金額) (27,000,000円)
- (4) 予定価格 30,461,200円  
(税抜価格) (27,692,000円)
- (5) 納入期限 令和9年3月31日
- (6) 入札方法 指名競争入札
- (7) 入札結果

	入札者	入札金額(円)	
1	(有)大瀧農場	棄権	
2	(株)北島車輛	棄権	
3	コマツカスタマーサポート(株) 東京関越カンパニー新潟事業部上越支店	辞退	
4	(株)サンコー	30,330,000	
5	(株)サンコーレンタル 上越営業所	辞退	
6	新星建機工業(株) 上越支店	28,100,000	
7	新潟いすゞ自動車(株) 上越支店	棄権	
8	(株)橋詰商会	27,000,000	○
9	F L A G(株)	辞退	
10	北陸建機(株)	31,000,000	
11	(株)山崎サービス	30,000,000	

(8) 契約する除雪車の概要

・取得の目的

中郷区で使用する小形除雪車 1.3m級 1 台を取得する。

平成 15 年度に取得した小形除雪車が取得から 22 年経過し、車体の老朽化により当初の能力を発揮できなくなっていることから、除雪車を更新し円滑な除雪体制を整える。

・規格

株式会社N I C H I J O製 H T R 8 8

・仕様

定 格 出 力	86kW
最 大 除 雪 幅	1.30m
最 大 除 雪 高	1.0m
最 大 投 雪 距 離	12.29m
最 高 走 行 速 度	40km/時
最 小 回 転 半 径	3.9m
全 長	5.46m
全 幅	1.30m
全 高	2.470m
車 両 重 量	5.630 t
乗 車 定 員	2 名

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	議案第 5 号
提 出 課	都市整備課

歳出科目 (P144～P145)	2 款 1 項 16 目	みどりのまち推進費
------------------	--------------	-----------

単位：千円

事 業 名	本 年 度	前 年 度	比 較
みどりのまち推進事業	9,367	7,274	2,093

主 な 財 源		主 な 経 費	
一般財源	9,367	需用費	4
		委託料	1,604
		原材料費	26
		負担金補助及び交付金	7,733

みどりの大切さを学び、守り育て、次の世代に引き継いでいくため、イベントの支援や花壇等の植栽管理を通じて、市民の緑化に対する意識の高揚を図るもの

○上越市みどりのフェスティバル実行委員会交付金 450

【目的】

イベント等を通じて、市民の緑化に対する意識の高揚を図る。

【8 年度目標】

来場者へのアンケートで緑化に対する意識が高まったとする人の割合を 9 割とする。

【実施内容】

緑化団体等により構成される実行委員会が主催する「上越市みどりのフェスティバル」に対する助成を行う。

○植栽管理等委託 1,634

【目的】

沿道や施設の花壇等に植栽を行うことにより、市民の心の豊かさの向上を図る。

【実施内容】

沿道や施設の花壇等を地元町内会や緑化団体等の協力を得て植栽や維持管理を行う。

種 別	面 積	箇所数、緑化場所等
沿道花壇	2,188 m <sup>2</sup>	32 箇所 (合併前上越市 8 箇所、7 区 24 箇所) ・ 国道 8 号石橋交差点等
施設花壇	1,308 m <sup>2</sup>	10 箇所 (合併前上越市 3 箇所、5 区 7 箇所) ・ 上越文化会館、五智公園等
その他	—	1 箇所 ・ 国道 253 号歩道内プランター (大島区大平地内)
合 計	3,496 m <sup>2</sup>	43 箇所 (合併前上越市 11 箇所、7 区 32 箇所)

○地域独自の予算事業 7,283

・御館川リバーサイド環境美化事業（春日区）（187）

春日山城跡の入口の景観美化を図るため、住民による御館川周辺の花壇の手入れやクリーン活動を行うほか、地元小中学生による地域貢献活動の協力等を行う。

実施主体：大豆町内会

・三郷のバス停を花で飾る事業（三郷区）（87）

地域住民の交流を促進し、三郷区内のバス利用者や行き交う人が心和む景観をつくるため、プランターに花を植え、区内のバス停に飾るとともに苗の植替え等の維持管理を行う。

実施主体：三郷花を楽しむ会

・クリーンナップ上越 in 五智事業（直江津区）（617）

海岸線（市道五智居多ヶ浜シーサイドライン線）における環境美化のため、小学校、近隣町内会、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセン、コスモスなどの花苗を植栽するとともに、看板設置や草刈り、清掃などを実施する。

実施主体：ひまわり會

・R350 花壇整備事業（有田区）（382）

地域住民が楽しく歩けるように、国道350号沿いの花壇を整備し周辺地域の環境美化と健康増進を図る。

実施主体：350同友会

・保倉地区環境美化事業（保倉区）（214）

保倉地域の環境美化や住民同士の交流を推進し、地域の活性化を図るため、保倉地区町内会、保倉小学校、保倉保育園、保倉地区公民館等の花壇や公園等に住民が花苗を植栽し管理を行う。

実施主体：保倉まちづくり振興会

[新]・安塚花のまちづくり推進事業（安塚区）（5,220）

旧安塚町が取り組んできた花のまちづくりを持続的に推進し、交流人口の拡大と地域の活気づくりの機会を創出するため、花苗の植栽、リバーサイドロードの花壇の除草、みどころマップ及び看板の制作等を行う。

実施主体：特定非営利活動法人NPO雪のふるさと安塚

・頸城線植栽モデル事業（頸城区）（576）

区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、頸城線の植樹帯40mの間にモデル的に花木を植栽する。

実施主体：くびき花の会

提出課	道路課
-----	-----

歳出科目（P264～P265）	8款2項1目	道路橋梁総務費
-----------------	--------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
私道整備事業	1,000	528	472

主な財源		主な経費	
一般財源	1,000	負担金補助及び交付金	1,000

【目的】

私道の整備に係る経費の一部を補助することにより、市民の生活環境の向上を図る。

【8年度目標】

実施予定の私道整備に対し、適切な補助金交付事務を行うとともに、降雪前までに整備が完了できるよう、申請者に対し指導する。

【実施内容】

地区	施工地	工種	延長（m）
合併前上越市	昭和町一丁目	側溝改良	45.0

歳出科目（P264～P267）	8款2項2目	道路維持費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
道路維持費	1,505,938	1,312,167	193,771

主な財源		主な経費	
国庫支出金	38,399	給料	15,788
諸収入	281	需用費	13,581
市債	830,800	委託料	316,509
	一般財源 636,458	使用料及び賃貸借	2,501
		工事請負費	1,132,044
		原材料費	8,961

道路損傷箇所の早期発見と速やかな修繕に努めることにより、車両等の事故を防止し、市民生活のより一層の安心・安全を確保するもの

○道路維持修繕・委託業務 1,273,149

【目的】

道路パトロールや市民からの通報等により覚知した損傷箇所の修繕を行うほか、道路清掃、除草等を実施し、安心・安全な道路環境を確保する。

【実施内容】

- ・道路パトロールや市民、関係機関からの通報により覚知した損傷箇所の修繕を速やかに実施する。
- ・道路及び側溝清掃、草刈りなどのほか、街路樹の剪定や伐採を行う。
- ・路面状況を効率的かつ的確に把握するため、AI技術を活用した舗装の損傷状態の調査・診断を行う。
- ・市道の陥没事故を防ぐため、主要路線において路面下の空洞調査を行う。
- ・舗装の劣化や損傷により、安全な通行に支障を来す箇所について、計画的に舗装修繕を行う。
- ・外側線の摩耗が著しい路線について、計画的に引き直し修繕を行う。
- ・道路照明施設について、定期的な点検を実施するとともに、計画的に老朽化した照明施設の修繕を行う。
- ・児童・生徒の安全を確保するため、学校関係者等と実施した通学路の合同点検に基づき交通安全対策を行う。

○道路防災事業 188,410

【目的】

市道の法面修繕などを行い、災害の発生予防や被害の拡大防止を図る。

【8年度目標】

工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。

【実施内容】

災害防止対策工事等（合併前上越市ほか9区30か所）

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	鍋ヶ浦吉浦線	吉浦	測量設計 一式	39
	岩殿山国道線	虫生岩戸ほか	道路修繕 L=170m	
	金谷団地3号線	大貫一丁目	水路修繕 L=42m W=0.5m	
	藤野新田塩屋新田線	塩屋新田	転落防止柵修繕 L=78m	
	門田新田戸野目古新田線	門田新田	道路修繕 L=10m	
安塚区	細野上達線	細野	道路修繕 L=16m	
	内山城ノ越線	安塚	道路修繕 L=14m	
	高沢岩戸線	高沢	水路修繕 L=12m W=0.4m	
大島区	熊田西沢線	牛ヶ鼻	側溝修繕 L=8m W=0.3m	
	上達細野線	上達	道路修繕 L=45m	
牧区	牧飯山線	上牧	測量設計 一式	40
			道路修繕 L=100m	
	泉線	泉	測量設計 一式	
	新田棚広線	棚広	側溝修繕 L=120m W=0.3m	
			道路修繕 L=37m	
	柳島樫谷線	小川	法面修繕 L=20m	
	坪山平方線	平方	車両用防護柵修繕 L=24m	
樫谷七森線	泉	側溝修繕 L=16m W=0.3m		
桜滝岩神線	岩神	道路修繕 L=44m		
柿崎区	平沢柿崎線	川田	法面修繕 L=14m	
	沖川線	百木	法面修繕 L=6m	
	馬正面上下浜線	馬正面	側溝修繕 L=80m	
	栢窪線	柿崎	側溝修繕 L=58m	
大潟区	大潟3号線	土底浜	法面修繕 L=80m	39
		長崎	法面修繕 L=120m	
頸城区	西福島北福崎線	下三分一ほか	転落防止柵修繕 L=648m	
吉川区	高沢入線	山直海	法面修繕 L=5m	40
板倉区	工業団地北部2号線	稲増	水路修繕 L=130m W=3.8m	39

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
板倉区	上久々野猿供養寺線	上久々野	道路修繕 L=9m	39
清里区	上深沢上田島線	上田島	転落防止柵修繕 L=41m	

○その他道路管理業務 44,379

【目的】

直江津駅及び黒井駅の自由通路、アンダーパス等の道路施設の適切な保守管理を行い、道路利用者の安心・安全を確保する。

【実施内容】

区分	施設名等	主な実施内容
施設維持管理	直江津駅自由通路 ほか	施設管理委託 直江津駅及び黒井駅自由通路の清掃 アンダーパス排水ポンプ定期点検 道路冠水注意喚起システム保守点検等 修繕工事 佐内アンダーパス等照明LED化工事

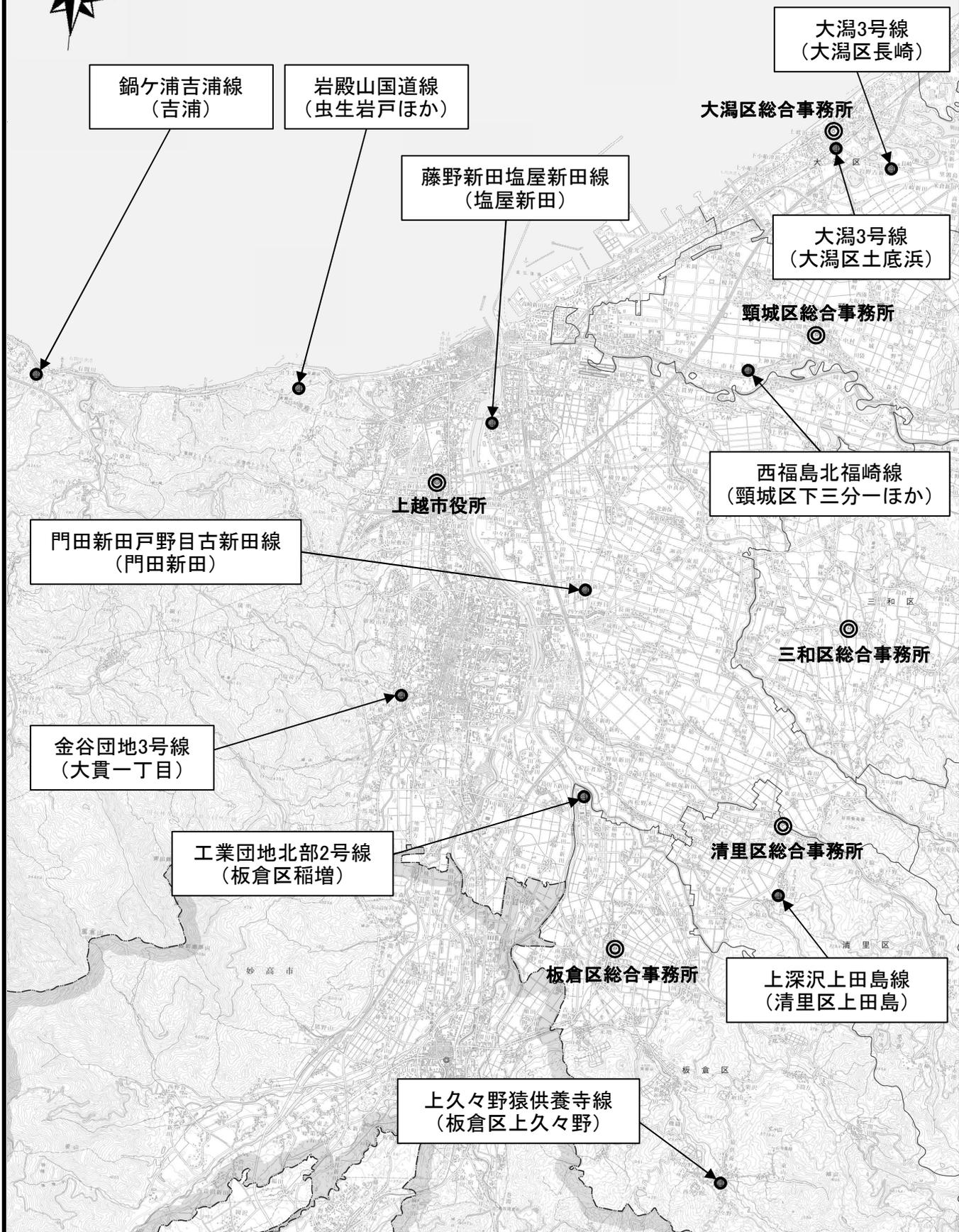
※ 36頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

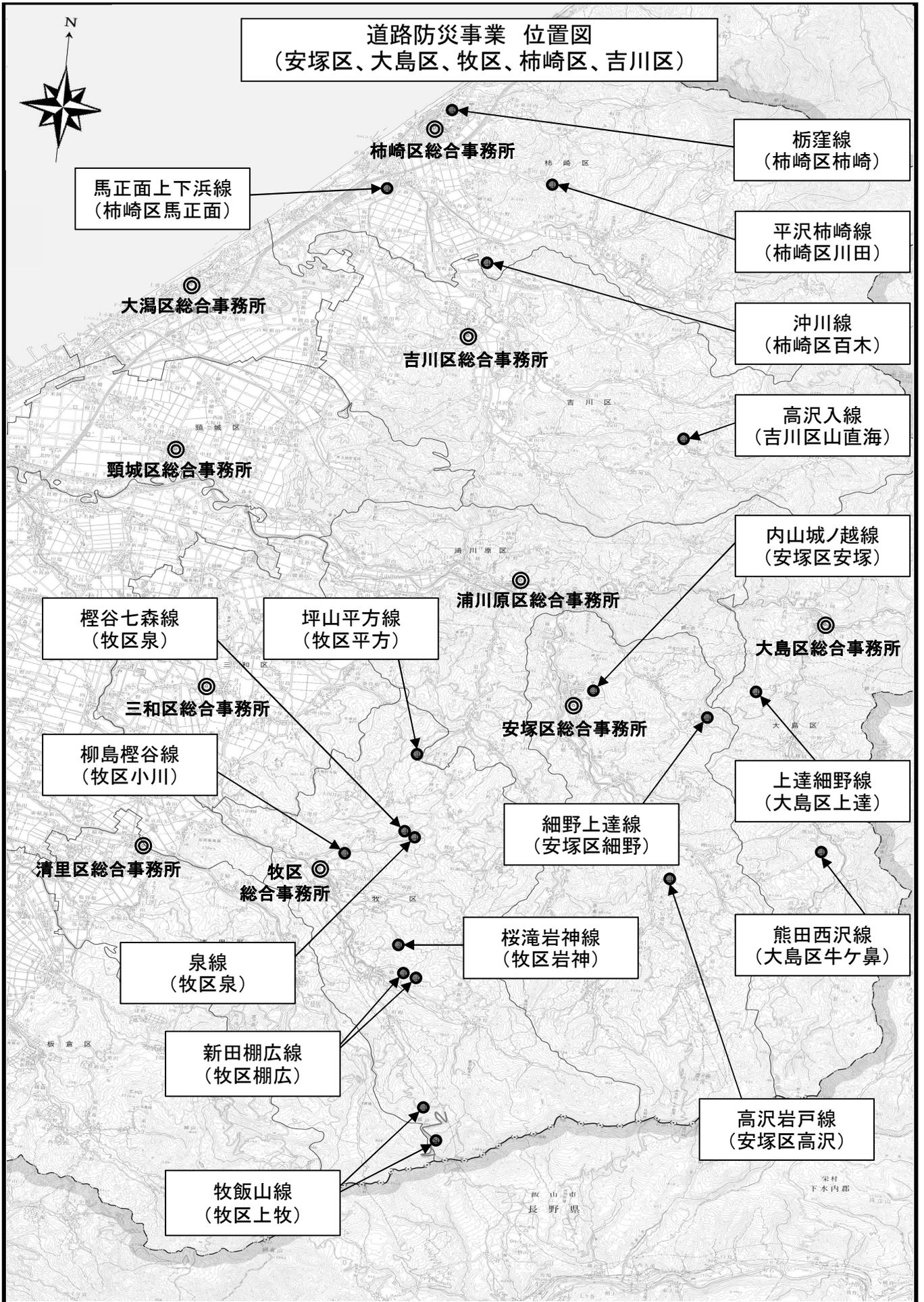
ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和7年度1月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	令和6年度1月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	
37,619	1,505,938	1,543,557	165,817	1,312,167	1,477,984	65,573

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

道路防災事業 位置図  
 (合併前上越市、大潟区、頸城区、板倉区、清里区)





歳出科目 (P266～P267)	8款2項3目	道路新設改良費
------------------	--------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
道路整備事業	728,963	643,360	85,603

主な財源		主な経費	
国庫支出金	377,356	委託料	226,448
市債	301,600	工事請負費	394,790
一般財源	50,007	公有財産購入費	7,599
		負担金補助及び交付金	16,500
		補償、補填及び賠償金	83,171

### 【目的】

狭あい道路の拡幅改良や通学路における歩道新設、老朽化が著しい道路側溝の改良など、市道の整備を推進し、市民の生活環境の向上を図る。

### 【8年度目標】

工事については、早期に発注し、降雪前の11月末までに完了する。

### 【実施内容】

道路改良工事等（合併前上越市ほか9区56か所）

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	三ツ橋三田新田線 (都市計画道路黒井藤野新田線)	三田新田ほか	道路盛土 L=220m 物件補償 一式	45
	夷浜国道団地3号線	夷浜	測量設計 一式	
	夷浜南線	夷浜	測量設計 一式	
	夷浜9号線ほか	夷浜	側溝改良 L=81m W=0.3m	
	大豆加賀町線	加賀町ほか	側溝改良 L=90m W=0.6m	
	国府中門前線	国府三丁目	測量設計 一式	
	有間川茶屋ヶ原線	有間川	道路改良 L=140m W=6.0m 物件補償 一式	
	春日山町三・一丁目線	春日山町二丁目	測量設計 一式	
	春日山町三丁目団地6号線	春日山町三丁目	測量設計 一式	
	大豆中門前線	中門前一丁目	測量設計 一式	
	春日山城線	春日山町一丁目	用地測量・調査 一式 物件調査 一式 不動産鑑定 一式	
岩木北団地2号線	岩木	道路改良 L=80m W=5.5m 物件補償 一式		

地 区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	北本町春日山町線 (加賀踏切)	藤新田一丁目 ほか	物件補償 一式	45
	北本町春日山町線	木田新田一丁 目	測量設計 一式	
	滝寺東団地 1 号線	滝寺	測量設計 一式	
	昭和町 2 号線	昭和町一丁目	側溝改良 L=120m W=0.4m	
	平山 2 号線ほか	大貫四丁目	側溝改良 L=90m W=0.6m 物件補償 一式	
	平山団地 5 号線	大貫四丁目	測量設計 一式	
	別院金谷線	寺町二丁目	測量設計 一式	
	表寺線	寺町一丁目	測量設計 一式	
	中通町京田線	寺町一丁目	測量設計 一式	
	大町一丁目東通線	大町一丁目	測量設計 一式	
	上門前大和線	稲荷ほか	歩道築造 L=100m W=2.5m	
	東木島 2 号線	木島	用地取得 A=250 m <sup>2</sup> 物件補償 一式	
	寺町下箱井線	下箱井	測量設計 一式	
	中田原高田城址公園 線	南本町二丁目	測量設計 一式	
	本城町国道線	本城町	測量設計 一式	
	上新町子安線	上新町	測量設計 一式	
	鴨島団地 39 号線	鴨島三丁目	測量設計 一式	
	元屋敷米岡線	元屋敷	転落防止柵設置 L=134m	
	東城町三丁目 22 号線	東城町三丁目	測量設計 一式	
	東城町三丁目 24 号線	東城町三丁目	測量設計 一式	
	東城町三丁目 25 号線	東城町三丁目	測量設計 一式	
	東城町三丁目 19 号線	東城町三丁目	側溝改良 L=200m W=0.3m 物件補償 一式	
	四辻町稲田橋線	長面	用地測量・調査 一式 物件調査 一式 不動産鑑定 一式 用地取得 A=313 m <sup>2</sup> 物件補償 一式	
南高田町栄町線	東本町一丁目	側溝改良 L=40m W=0.3m		
土橋木田線	藤巻ほか	測量設計 一式		

地区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	小猿屋安江線	三田	側溝改良 L=10m W=0.5m	45
	杉野袋上千原線	中真砂	測量設計 一式	
	杉野袋上千原線	上千原	測量設計 一式	
浦川原区	八幡下池田線	顕聖寺	不動産鑑定 一式 用地取得 A=70 m <sup>2</sup> 物件補償 一式 道路改良 L=30m W=8.0m	46
	窓口線	上岡	測量設計 一式	
大島区	長者島中央線	大平	側溝改良 L=90m W=0.3m	46
柿崎区	馬正面川井線	馬正面ほか	合併施工負担金 一式	
	桃園線	馬正面	側溝改良 L=100m W=0.3m	
	藤ノ木線	柿崎	道路改良 L=65m W=4.0m	
	上下浜神明坂2号線	上下浜	測量設計 一式	
大潟区	大潟208号線ほか	九戸浜	測量設計 一式	47
頸城区	両毛村中線	手島	道路改良 L=6m W=4.0m	
清里区	岡野町馬屋中央線	塩曾根	測量設計 一式	
三和区	島倉神田本郷線	神田	転落防止柵設置 L=22m	47
	上田西浦中坪線	田	道路改良 L=60m W=2.5m	
	窪法花寺線	窪ほか	測量設計 一式	
中郷区	江端岡川線	四ツ屋ほか	測量設計 一式	47
	稻荷山坂本線	松崎	測量設計 一式	
名立区	大沢入線	小田島	側溝改良 L=75m W=0.3m	

(参考) 実施状況等 (令和8年度末見込み)

道路整備計画		令和7年度までに 着手		令和8年度に 着手 (R7補正含む)		比 較
計画期 (期間)	箇所数	箇所数	進捗率 (%) (A)	箇所数	進捗率 (%) (B)	(B) - (A)
第1期 (H24~H26)	87	87	100.0	0	100.0	0.0
第2期 (H27~R元)	97	97	100.0	0	100.0	0.0
第3期 (R2~R6)	84	84	100.0	0	100.0	0.0
第4期 (R7~R11)	109	24	22.0	39	57.8	35.8
合 計	377	292	77.5	39	87.8	10.3

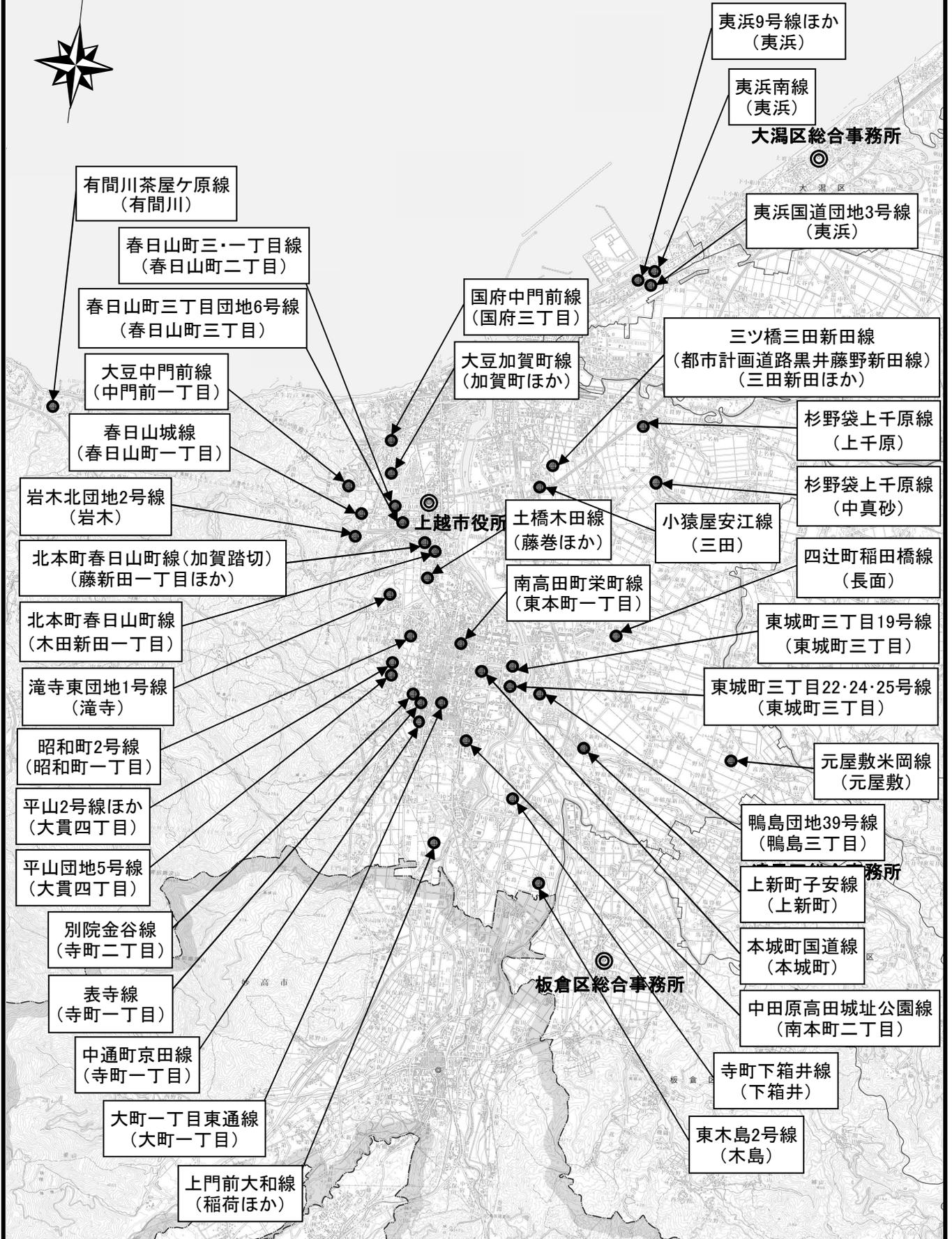
※ 41頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

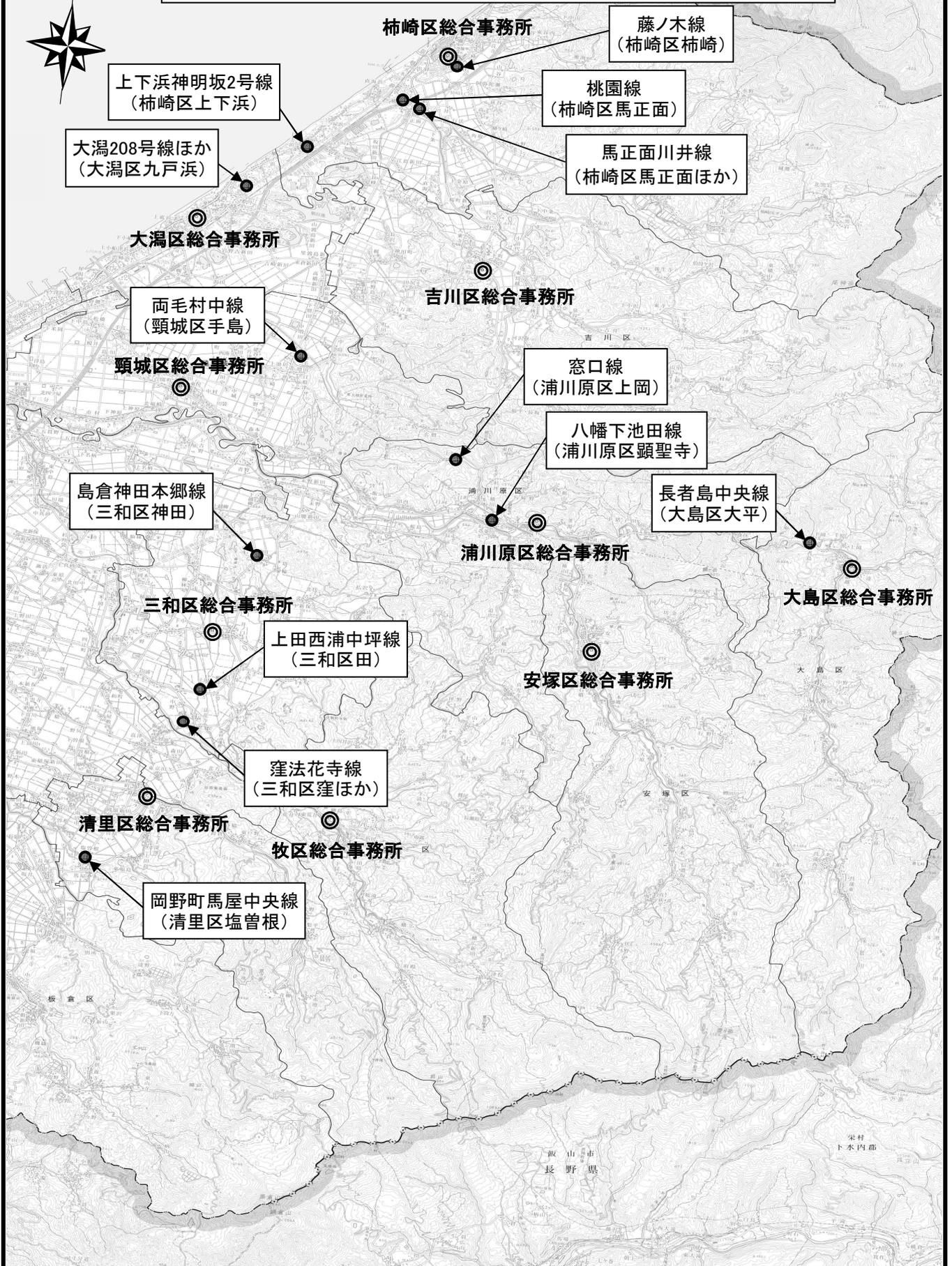
本年度			前年度			比較
令和7年度1月補 正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和6年度1月補 正予算額 (※)	当初予算額	合計	
707,420	728,963	1,436,383	311,382	643,360	954,742	481,641

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

道路整備事業 位置図  
(合併前上越市)



道路整備事業 位置図  
 (浦川原区、大島区、柿崎区、大潟区、頸城区、清里区、三和区)



道路整備事業 位置図  
(中郷区、名立区)



名立区総合事務所

上越市役所

大沢入線  
(名立区小田島)

江端岡川線  
(中郷区四ツ屋ほか)

中郷区総合事務所  
稲荷山坂本線  
(中郷区松崎)

歳出科目 (P 266～P 267)	8 款 2 項 4 目	橋梁維持費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
橋梁維持費	366,529	590,438	△223,909

主な財源		主な経費	
国庫支出金	195,121	委託料	136,895
市債	120,800	工事請負費	229,634
一般財源	50,608		

### 【目的】

一般交通に支障を来さないよう、橋梁の定期点検を適切に行うとともに、計画的に損傷箇所を修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。

### 【8 年度目標】

- ・橋梁 64 橋の定期点検を早期に発注し、降雪前の 11 月末までに現場作業を完了する。  
このほか、跨線橋 5 橋と跨道橋 5 橋については、委託先である鉄道及び高速道路の管理者と早期に協定を締結し、3 月中旬までに完了する。
- ・工事施行委託の 1 橋については、委託先である鉄道管理者と早期に協定を締結し、降雪前の 11 月末までに現場作業を完了する。
- ・修繕工事の 9 橋については、早期に発注し、3 月中旬までに完了する。

### 【実施内容】

- ・点検委託（合併前上越市ほか 7 区 74 橋）

地区	橋梁名	施工地	実施内容
市内一円	長者ノ橋ほか 73 橋	岡原ほか	橋梁点検

- ・工事施行委託（合併前上越市 1 橋）

地区	橋梁名	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	西ヶ窪浜橋梁(国道西ヶ窪浜線)	西ヶ窪浜	工事施行委託	50

- ・実施設計（合併前上越市ほか 2 区 4 橋）

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	荒浜橋梁（国道下荒浜線）	下荒浜	実施設計	50
	西山寺橋（西山寺下綱子線）	西山寺		
大島区	赤倉橋（赤倉線）	岡ほか		51
名立区	赤野俣歩道橋（脇の谷道下線）	名立大町ほか		50

・橋梁修繕工事（合併前上越市ほか4区9橋）

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	笹川橋（藤新田春日山町三丁目線）	藤新田一丁目ほか	断面修復 一式 塗装塗替 一式	50
	笹川橋（保健所東通線）	藤新田一丁目ほか	伸縮装置取替 一式 橋面防水 一式	
	若鷹橋（上千原東中島線）	上千原ほか	塗装塗替 一式	
	西吉尾橋（西吉尾1号線）	西吉尾	塗装塗替 一式	
	宮下橋（中ノ俣1号線）	中ノ俣	塗装塗替 一式	
大島区	仲原橋（仲原線）	菖蒲	断面修復 一式	51
中郷区	稲荷山橋（稲荷山松ヶ峯線）	稲荷山ほか	支承補修 一式	50
板倉区	別所川橋（上筒方線）	筒方ほか	塗装塗替 一式	51
三和区	神田橋（島倉神田本郷線）	神田	断面修復 一式 塗装塗替 一式	

（参考）実施状況等（令和8年度末見込み）

・橋梁長寿命化修繕計画（第1期国土強靱化実施中期計画）

計画期間：令和8年度～令和12年度（5年間）

達成目標：令和12年度末までに、判定Ⅲ橋梁の修繕措置（完了）率80%以上

	令和6年度末		令和7年度末		令和8年度末	
	修繕済 橋梁数	修繕 措置率	修繕済 橋梁数	修繕 措置率	修繕済 橋梁数	修繕 措置率
判定Ⅲ 橋梁数	53	28.8%	90	48.9%	104	56.5%

※判定Ⅲ橋梁：令和5年度末（2巡目点検結果・令和元年度～5年度に実施）で、早期措置段階（構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）と判定された橋梁

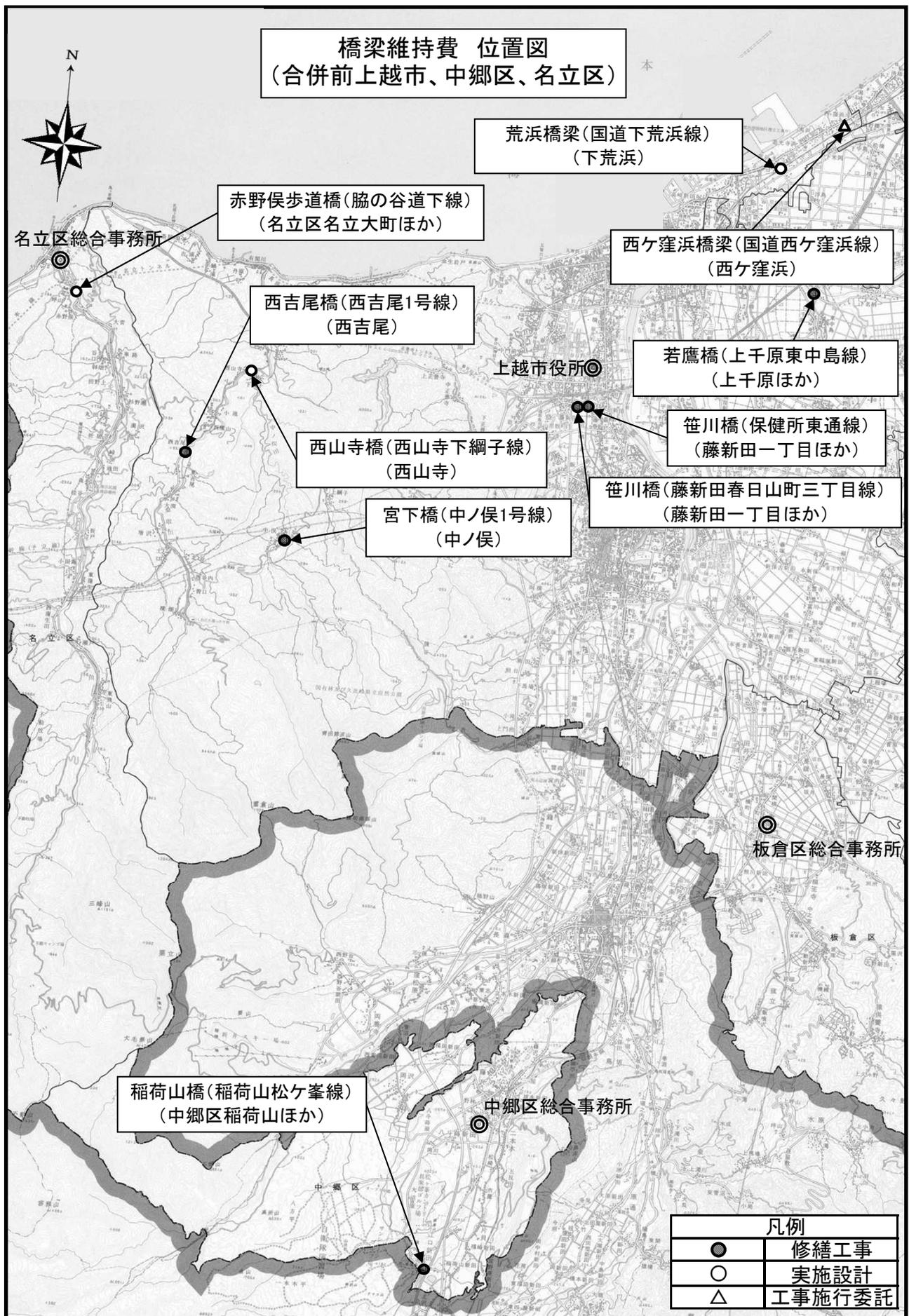
※修繕措置率：修繕工事が必要な橋梁に対して、修繕が完了した橋梁数の割合

※ 48頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和7年度1月補 正予算額（※）	当初予算額	合計	令和6年度1月補 正予算額（※）	当初予算額	合計	
21,815	366,529	388,344	21,153	590,438	611,591	△223,247

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。



橋梁維持費 位置図  
(大島区、板倉区、三和区)



歳出科目（P266～P269）	8款2項5目	除雪費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
消融雪施設管理費	397,364	306,391	90,973

主な財源		主な経費	
国庫支出金	123,305	市債	111,400
県支出金	5,244	一般財源	157,155
諸収入	260		
		需用費	57,706
		役務費	532
		委託料	78,113
		工事請負費	259,311
		負担金補助及び交付金	1,593

冬期間の道路交通を確保するため、消雪パイプや流雪溝などの修繕等を実施し、継続して施設を利用できるよう維持管理するもの

○消融雪施設管理 131,893

【目的】

消融雪施設の点検、清掃及び管理を行い、冬期間の円滑な道路交通の確保を図る。

【実施内容】

消融雪施設の点検管理業務委託等を実施し、効果的な施設管理を行う。

- ・消雪パイプ延長 L=73 km 流雪溝延長 L=17 km

○消融雪施設等修繕工事 63,856

【目的】

消融雪施設の修繕を行い、十分な機能を確保する。

【実施内容】

消雪パイプや流雪溝などの老朽化及び破損等に伴う不具合箇所の修繕工事を実施し、施設の機能を維持する。

- ・消融雪施設等修繕工事

地区	主な修繕工事内容
合併前上越市、浦川原区、柿崎区、大潟区、頸城区、中郷区、板倉区、清里区、三和区	消雪井戸水中ポンプ交換 消雪パイプノズル交換及び漏水修繕 流雪溝ポンプ交換 電気設備修繕等

○消雪パイプリフレッシュ工事等 201,615

【目的】

老朽化した消雪パイプ施設を更新し、消融雪機能を回復する。

【8年度目標】

消融雪施設整備計画に基づき、消雪パイプリフレッシュ工事を早期に発注し、降雪期までに完了する。

【実施内容】

消雪パイプリフレッシュ工事

地 区	路線名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	表寺線ほか	寺町三丁目ほか	消雪パイプ更新 L=160m	54
	南高田町栄町線 ほか	大町四丁目ほか	消雪井戸更新 1 か所	
	北城高校北通線 ほか	北城町二丁目	実施設計業務 1 式	
中郷区	稲荷山坂本線	二本木	消雪パイプ更新 L=784m	
板倉区	針曾根田線ほか	針	消雪井戸ポンプ更新 1 か所	
			消雪パイプ更新 L=201m	

(参考) 第四期 (R7~R11) 整備計画進捗状況

	全 体	令和 8 年度までに着手 (R7 補正含む)	令和 8 年度 完了予定
路線数	10	5	2
進捗率 (%)	100.0	50.0	20.0

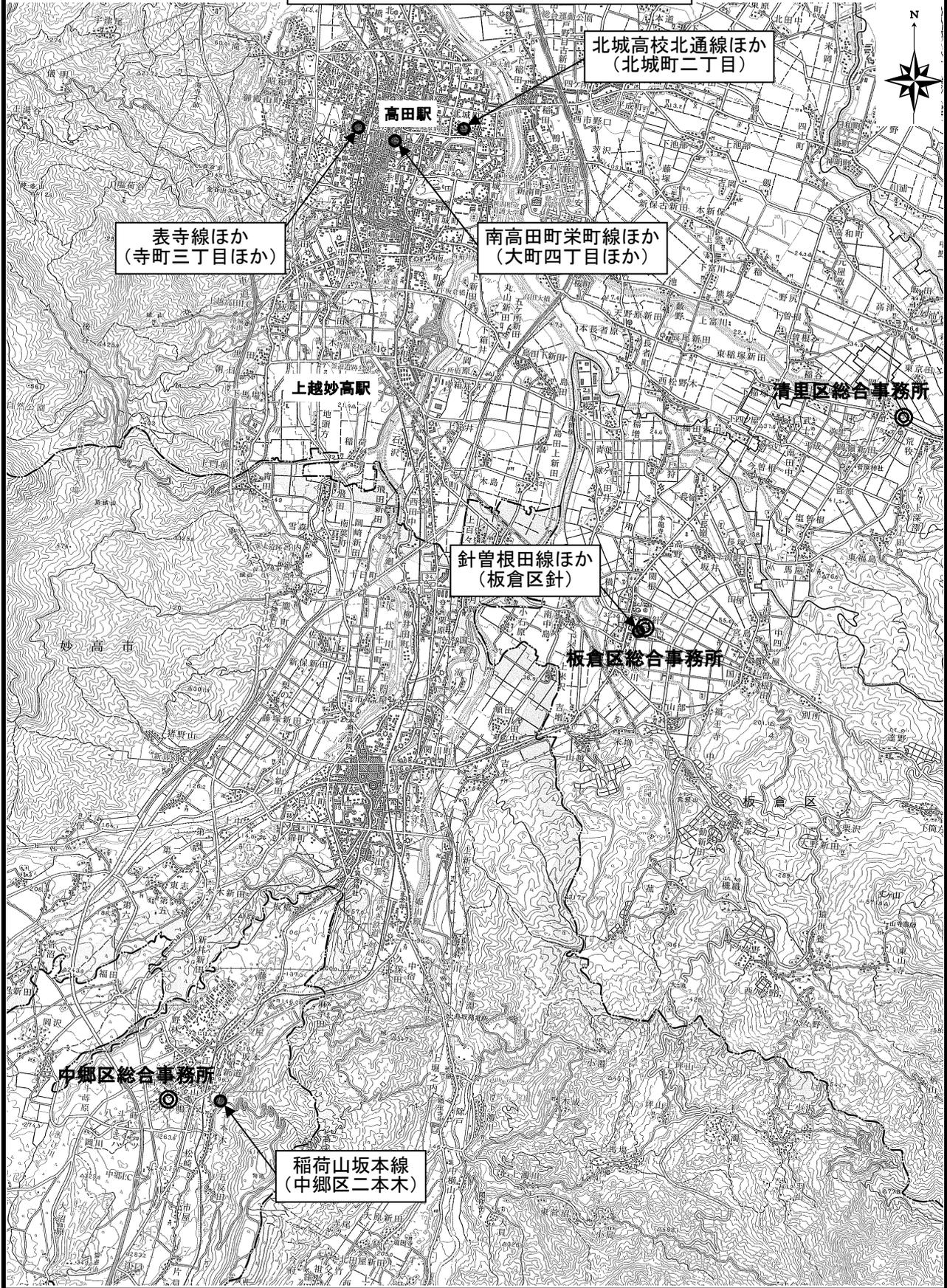
※ 52 頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和 7 年度 1 月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	令和 6 年度 1 月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	
57,600	397,364	454,964	113,555	306,391	419,946	35,018

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

消融雪施設管理費 位置図  
(合併前上越市、中郷区、板倉区)



歳出科目（P268～P269）	8款2項5目	除雪費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
除雪費	3,607,743	3,436,225	171,518

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,211,800	諸収入	11,019
県支出金	103	市債	148,400
財産収入	3	一般財源	2,236,418
		報償費	21,808
		需用費	298,007
		委託料	2,787,385
		備品購入費	467,633
		負担金補助及び交付金	
			3,710

冬期間の道路交通を確保するため、除雪機械による除雪を行い市民生活の安心・安全を確保するもの

○市道除排雪事業 3,583,143

【目的】

除雪機械による計画的、効率的な除排雪作業を実施し、冬期間における市道の円滑な交通を確保する。

【8年度目標】

通常降雪時は除雪作業をおおむね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。また、異常降雪時は積雪状況や道路状況等に応じた適切かつ迅速な除排雪作業に努める。

【実施内容】

- ・ 除雪計画における除雪路線区分及び除雪出動判断基準に基づき除雪を行う。
- ・ 凍結のおそれがある場合は、散布車により凍結防止剤を散布する。
- ・ 「ワンオペ除雪」の推進など、持続可能な除雪体制の維持に向けた取組を行う。
- ・ 除雪機械 12 台を更新するとともに、修繕や消耗品の交換等適切な整備を行い、迅速で的確な除雪体制を構築する。

除雪機械更新内訳

車種	台数	配置区
ロータリ除雪車 2.6m級	3	大島区、柿崎区、板倉区
除雪ドーザ 8t～16t級	8	合併前上越市（3台）、大島区、大潟区（2台）、中郷区、三和区
小形除雪車 1.3m級	1	中郷区

○小型除雪機購入費補助事業 2,400

【目的】

除雪機械が入れない狭あいな道路や高齢者宅前などを地域の住民が小型除雪機を使用して共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、地域の共助による除雪を推進する。

**【8年度目標】**

広報上越等により積極的かつ早期に補助事業を周知し、降雪期までに事業を完了する。

**【実施内容】**

- ・補助率 購入費の40%以内（1台につき800千円限度）
- ・補助金交付予定台数 3台

## ○除雪オペレーター人材確保促進事業補助金 900

**【目的】**

除雪作業の重要性が増す中、除雪機械作業の有資格者を増やすため、市道の除雪オペレーターの従事を希望する満61歳未満の者に対し、資格取得に係る経費の一部を補助し、除排雪作業に従事する人材を確保する。

**【8年度目標】**

除雪事業者や建設業協会に補助事業の積極的な利用を促し、除雪オペレーターの担い手確保を図る。

**【実施内容】**

- ・補助対象となる資格
  - (1) 大型特殊自動車免許
  - (2) 運転技能講習
- ・補助率  
資格取得に要した経費の1/2（1名につき50千円限度）
- ・補助金交付予定人数 18名

## ○市道除雪作業報償金 21,300

**【目的】**

除雪路線に指定していない市道において、共助による除雪体制を維持するため、地域が行う除雪活動を支援する。

**【8年度目標】**

共助による除雪体制を維持し、冬期間の道路交通と安全な歩行空間を確保する。

**【実施内容】**

- ・対象者  
町内会など
- ・対象路線  
除雪路線に指定していない市道
- ・対象期間  
12月1日から翌年3月15日まで
- ・対象となる経費
  - (1) 除雪作業の労務費
  - (2) 除雪機械の燃料費、損料、諸経費
  - (3) 消融雪施設の電気料金、点検、修繕費
- ・報償金  
除雪延長1mあたり1回50円

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P 268～P 269)	8 款 2 項 6 目	克雪総合計画費
--------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
克雪住宅推進費	11,074	13,758	△2,684

主な財源		主な経費	
国庫支出金	2,762	役務費	24
県支出金	5,525	負担金補助及び交付金	
一般財源	2,787		11,050

### 【目的】

屋根雪下ろしの負担軽減を図るため、住宅の克雪化を支援するとともに、屋根雪下ろしに起因する転落事故を未然に防止するため、命綱固定アンカー等の設置を促進する。

### 【8年度目標】

克雪住宅の増加や命綱固定アンカー等の普及に向け、広報上越や市ホームページ等を活用して制度の周知を図るとともに、降雪前に工事が完了するよう迅速に支援を行う。

### 【実施内容】

- ・克雪すまいづくり支援事業補助金（対象地域 … 大潟区及び頸城区を除く全市）

区分	補助額	件数	合計
耐雪式、落雪式等(要援護世帯)	440	1	440
耐雪式、落雪式等(一般世帯)	330	17	5,610
合計	—	18	6,050

- ・屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置費補助金（対象地域 … 全市）

区分	補助額	件数	合計
要援護世帯	100	35	3,500
一般世帯	100	15	1,500
合計	—	50	5,000

提出課	河川海岸砂防課
-----	---------

歳出科目 (P 270～P 271)	8 款 3 項 1 目	河川総務費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
河川管理費	186,911	220,036	△33,125

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,869	市債	159,500
県支出金	1,293	一般財源	24,240
諸収入	9		
		報酬	881
		需用費	845
		委託料	17,334
		使用料及び賃借料	399
		工事請負費	165,262
		負担金補助及び交付金	1,140

市管理河川等の維持管理を実施するほか、関係機関及び関係団体と連携し、河川事業の促進や環境保全に向けた施策を実施するもの

○河川維持修繕・委託業務等 21,790

【目的】

河川及び河川公園の機能を適切な状態に保つよう維持管理を行うとともに、増水時には排水樋門や排水ポンプ等について適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努める。また、地元関係団体等の活動を支援し、河川改修の促進や環境美化の向上を図る。

【実施内容】

- ・樋門等維持管理委託 排水樋門や排水ポンプの操作
- ・河川等維持管理委託 市管理河川、河川公園等の清掃、除草
- ・河川等維持工事 市管理河川等の維持・修繕工事
- ・負担金 各種同盟会や協議会への負担金

○緊急しゅんせつ推進事業 16,640

【目的】

河川に堆積している土砂の撤去や樹木の伐採を実施し、流下能力の確保を図る。

【8年度目標】

工事については、早期に発注し、年度内に完了する。

【実施内容】

地区	河川名	施工地	主な実施内容	位置図ページ
合併前 上越市	国府上沢川	国府二丁目ほか	堆積土砂撤去 L=281m	61
	前川	下馬場ほか	伐木及び堆積土砂撤去 L=643m	
	旧桑曽根川	東中島ほか	伐木 L=85m	

地 区	河川名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
浦川原区	無名川	六日町	堆積土砂撤去 L=150m	62
柿崎区	石子川	竹鼻	堆積土砂撤去 L=60m	
三和区	江象川	大	堆積土砂撤去 L=32m	
名立区	北沢川	名立小泊	堆積土砂撤去 L=6m	61

○緊急自然災害防止対策事業 143, 457

【目的】

河川の護岸崩落防止対策などを実施し、災害の発生予防を図る。

【8年度目標】

工事については、早期に発注し、年度内に完了する。

【実施内容】

地 区	河川名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	旧桑曾根川	東中島ほか	護岸工 L=40m	61
	無名川	下箱井	水路改良 L=89m	
	国府上沢川	中門前ほか	水路改良 L=50m	
	吉浦川	吉浦	護岸工 L=3m	
	無名川	土口	護岸工 L=6m	
安塚区	無名川	二本木	水路改良 L=36m	62
牧区	檜谷川	檜谷	護岸工 L=8m	
柿崎区	無名川	黒岩	護床工 L=6m	
頸城区	無名川	矢住	水路改良 L=10m	
吉川区	無名川	尾神	水路改良 L=6m	
板倉区	ロンデ川	久々野	水路改良 L=41m	
清里区	大江川	梨平	護岸工 L=10m	
三和区	錦川	井ノ口ほか	護岸工 L=250m、排水ゲート 工 N=1 箇所	
	代官免川	島倉	護岸工 L=20m	

○地域独自の予算事業 588

・青田川桜並木整備と環境啓発事業（高田区）

地域の宝である青田川の保存と景観づくりを通じて河川愛護の意識を啓発するとともに、青田川の歴史を次世代へ伝承するため、青田川の桜並木の枝切り等を行うほか、環境啓発ポスターの作成・配布、クリーンアップ活動を行う。

実施主体：青田川を愛する会

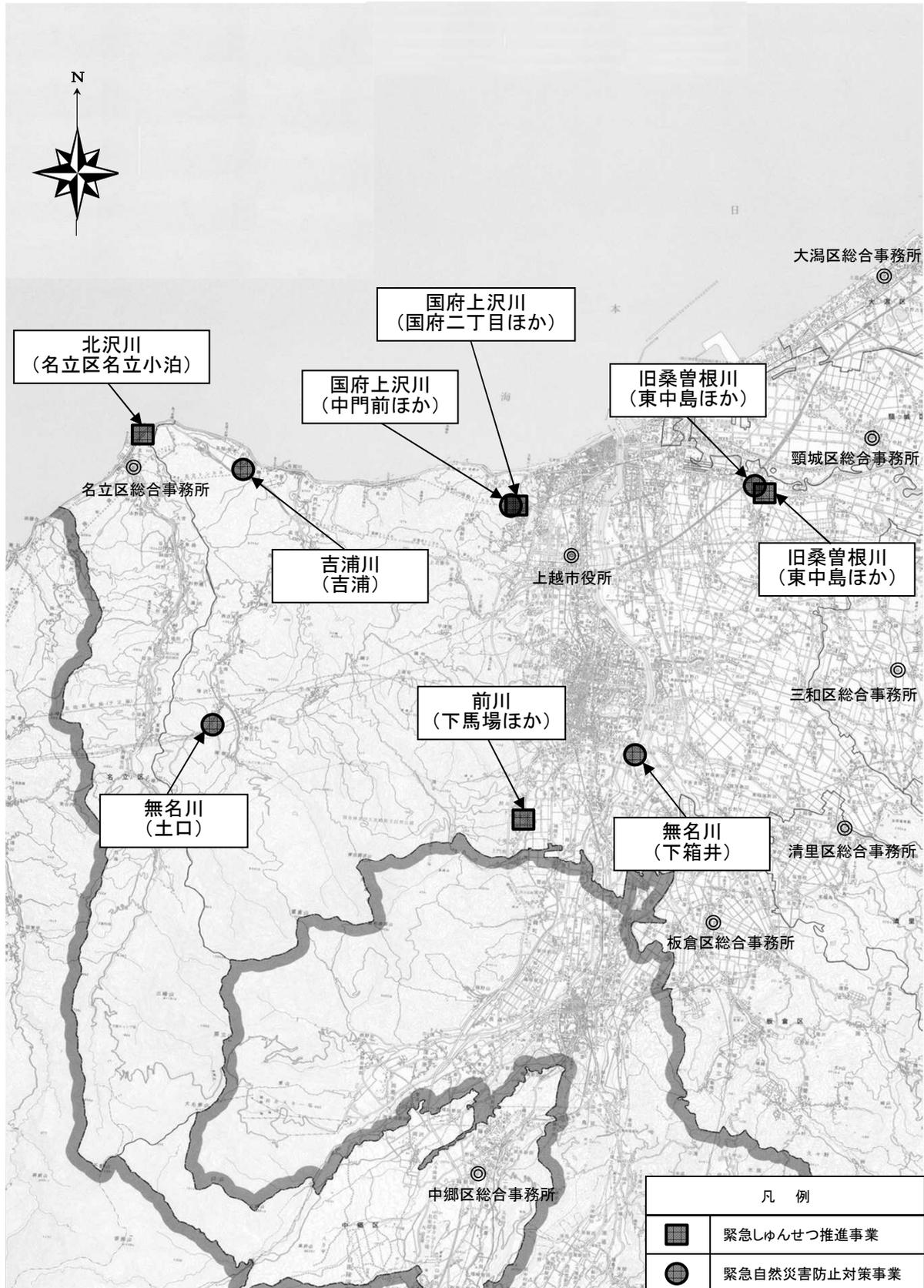
※ 58 頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

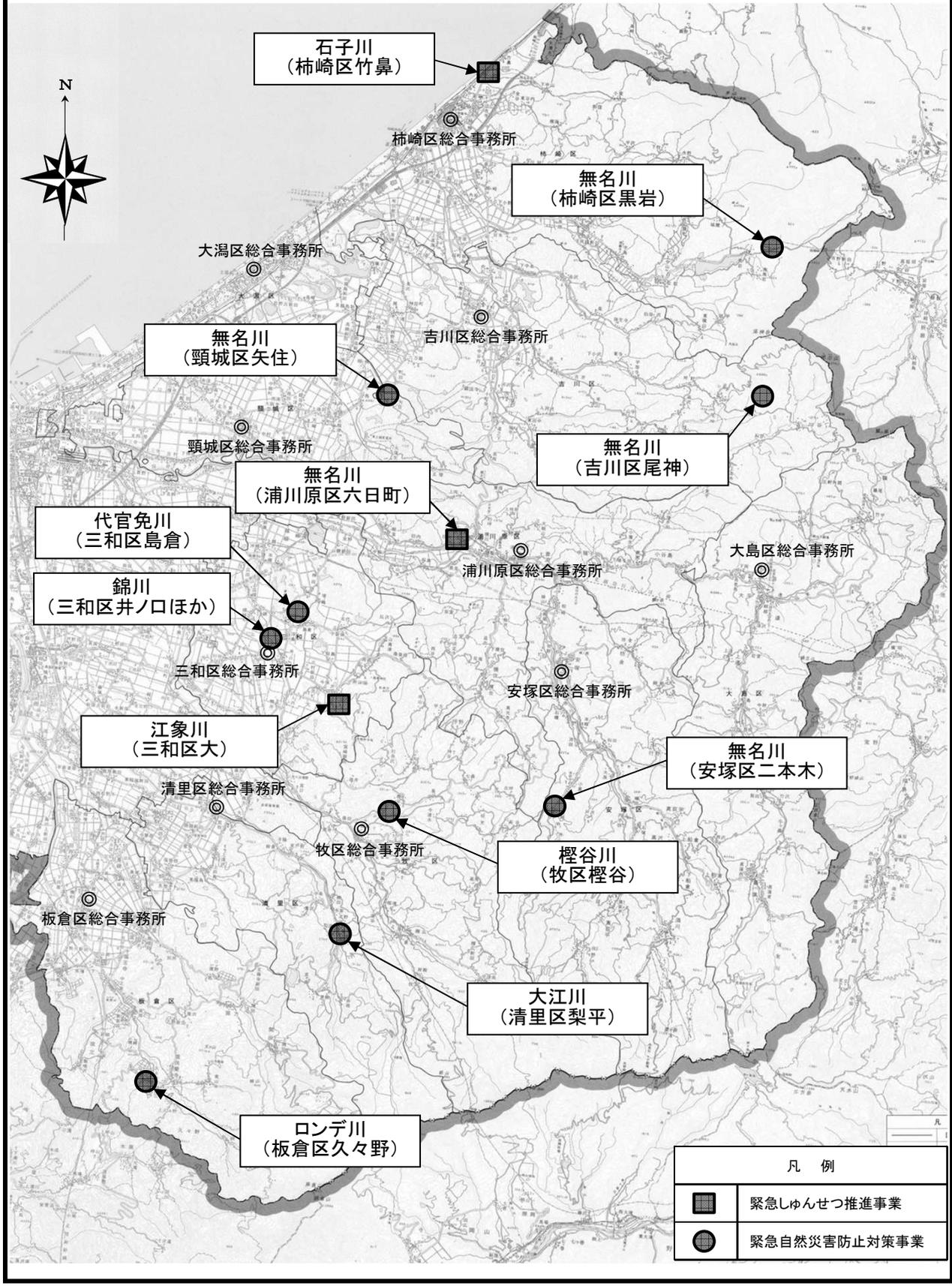
本年度			前年度			比較
令和 7 年度 1 月補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和 6 年度 1 月補正予算額 (※)	当初予算額	合計	
29,227	186,911	216,138	68,266	220,036	288,302	△72,164

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

河川管理費 位置図  
(合併前上越市、名立区)



**河川管理費 位置図**  
 (安塚区、浦川原区、牧区、柿崎区、頸城区、吉川区、板倉区、清里区、三和区)



凡 例	
	緊急しゅんせつ推進事業
	緊急自然災害防止対策事業

歳出科目 (P270～P271)	8款3項1目	河川総務費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
砂防事業費	22,075	16,851	5,224

主な財源		主な経費	
県支出金	14,672	報酬	2,136
市債	5,200	委託料	11,564
一般財源	2,203	需用費	907
		役務費	1,484
		負担金補助及び交付金	5,884

上越地域は全国有数の地すべり地帯であることから、地すべり発生の危険区域において巡視活動を実施するほか、地すべり資料館の管理運営を行うなど、砂防に係る事業や施策を実施するもの

○地すべり巡視業務 12,552

【目的】

人家15戸以上の地すべり指定地のうち、地形地質的に地すべり発生の危険性が大きい区域において巡視活動を行い、地すべりの兆候や土砂の崩落を早期に発見し、土砂災害を未然に防止する。

【実施内容】

新潟県の地すべり巡視員制度に基づき、市内110か所の地すべり危険区域において、94人の地すべり巡視員を配置し、年間26日の巡視活動を実施する。

○地すべり資料館の維持管理 3,488

【目的】

土砂災害に対する啓発を目的とした地すべり資料館(板倉区猿供養寺地内)について、新潟県から委託を受けて施設の維持管理を行う。

【実施内容】

地すべり資料館の維持管理業務

○急傾斜地崩壊対策事業負担金 5,000

【目的】

法面崩壊のおそれがある急傾斜地(中郷区江端地区)において、斜面の安定を図るため、法面対策を実施し、土砂災害を未然に防止する。

【実施内容】

新潟県が主体となり実施する急傾斜地崩壊対策事業について、市負担金を支出する。

○砂防メンテナンス事業負担金 250

【目的】

法面崩壊のおそれがある急傾斜地（柿崎区下谷内中地区）において、急傾斜地崩壊防止施設の老朽化対策を実施することにより施設機能を確保し、土砂災害を未然に防止する。

【実施内容】

新潟県が主体となり実施する砂防メンテナンス事業について、市負担金を支出する。

※ 63 頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和 7 年度 1 月補正予算額（※）	当初予算額	合計	令和 6 年度 1 月補正予算額（※）	当初予算額	合計	
700	22,075	22,775	0	16,851	16,851	5,924

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目（P270～P273）	8款3項1目	河川総務費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
保倉川放水路沿川まちづくり事業	4,019	4,554	△535

主な財源		主な経費	
一般財源	4,019	報酬	881
		職員手当等	263
		共済費	204
		旅費	135
		需用費	440
		委託料	1,906

### 【目的】

保倉川放水路整備に伴う地域の懸念事項に対応するため、地域コミュニティへの影響をできる限り軽減するためのまちづくり事業を実施し、保倉川放水路の整備促進を図る。

### 【8年度目標】

国の保倉川放水路検討の進捗に合わせ、地域の懸案や課題解決に向けた調査検討を進める。

### 【実施内容】

#### まちづくり検討業務

保倉川放水路沿川地域のまちづくり検討は、これまで実施してきた道路ネットワークやコミュニティ施設の検討を継続するとともに、国が令和7年度末から進めている環境アセスメントの手続きと並行し、海風などが周辺地域に与える影響の軽減策についても検討を進める。

提出課	都市整備課
-----	-------

歳出科目 (P274～P275)	8款5項3目	公園費
------------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
都市公園整備事業	341,699	100,625	241,074

主な財源		主な経費	
国庫支出金	132,400	委託料	4,364
市債	127,500	工事請負費	279,694
一般財源	81,799	公有財産購入費	57,641

市民の憩いや交流の場となる都市公園を整備するもの

○高田城址公園整備事業 64,812

【目的】

多くの市民が集う憩いの場として、老朽化した施設を計画的に更新し、安心・安全な空間の確保に努める。

【8年度目標】

内堀護岸更新工事を早期に発注し、11月末までに完了する。

【実施内容】

	実施内容	位置図 ページ
内堀護岸更新	更新工事 L=95m	68

○都市公園整備事業 276,887

【目的】

利用者が安心して公園を利用できるよう老朽化した施設の更新を行うとともに、こどもプールの撤去に伴い、幅広い世代が利用しやすい公園への再整備を図る。

【8年度目標】

- ・工事については、早期に発注し、11月末までに完了する。
- ・上越総合運動公園区域内において未買収となっている土地の買収を、年度内に完了する。

【実施内容】

公園施設更新工事

地区	公園名	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	高田城址公園	本城町	水位計更新工事 N=2基	68

地区	公園名	施工地	実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	高田城址公園	本城町	第6駐車場舗装打換工事 一式	68
	五智公園	五智六丁目	野外卓更新工事 一式	
	海浜公園	西本町四丁目	照明灯更新工事 N=1 基	
	戸野目公園	平成町	駐車場舗装打換工事 一式	
	古城公園	港町一丁目	引込柱更新工事 N=1 基	
	松の木公園	国府四丁目	パーゴラ更新工事 一式	
柿崎区	住吉公園	柿崎	パーゴラ更新工事 一式	
大潟区	新堀川公園	潟守新田	ベンチ更新工事 N=2 基	
	浜割公園	土底浜	外柵更新工事 L=73m	

こどもプール撤去・跡地整備工事

公園名	施工地	実施内容	位置図 ページ
春日新田公園	春日新田五丁目	広場整備、東屋設置、築山造成	68
桐ノ木公園	佐内町	広場整備、東屋設置、築山造成	
上稲田公園	稲田四丁目	広場整備、駐車場整備、東屋設置	
柳善公園	東城町二丁目	広場整備、駐車場整備、東屋設置	

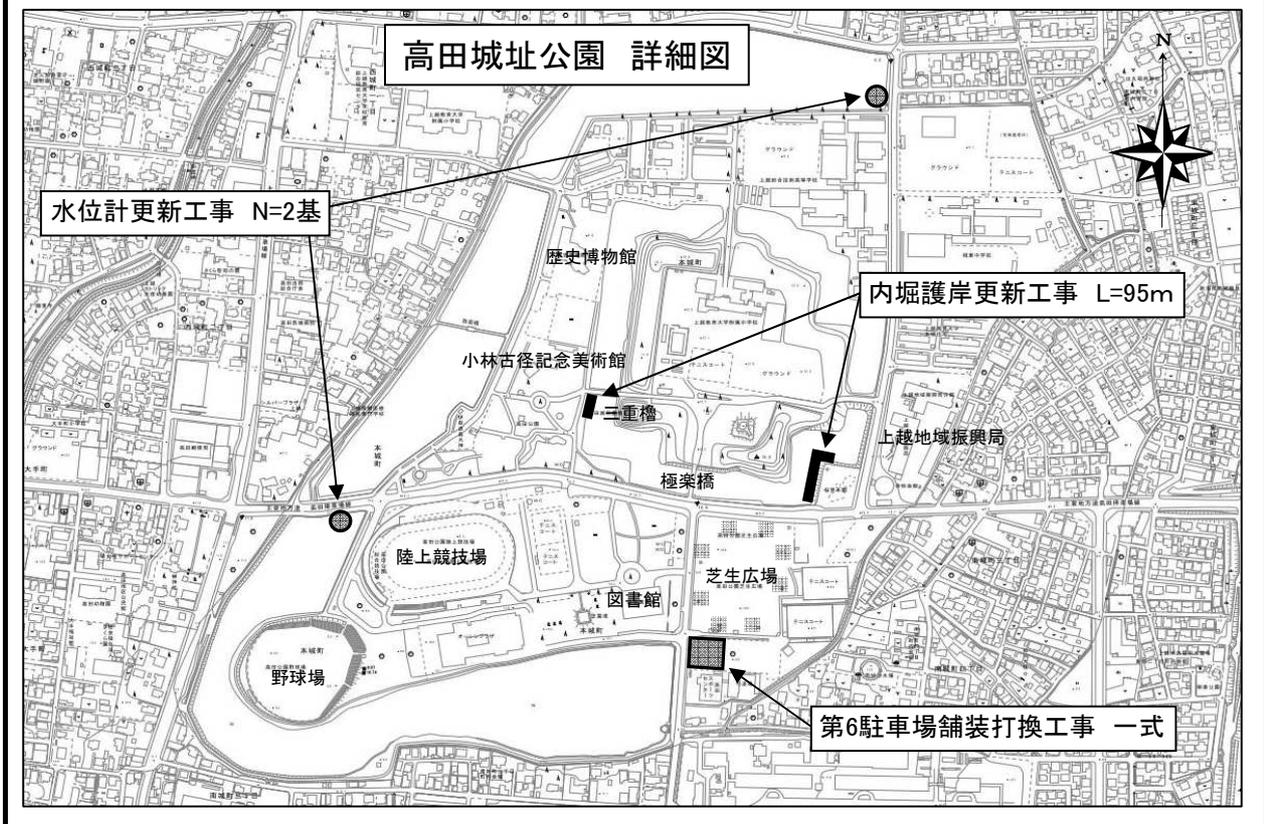
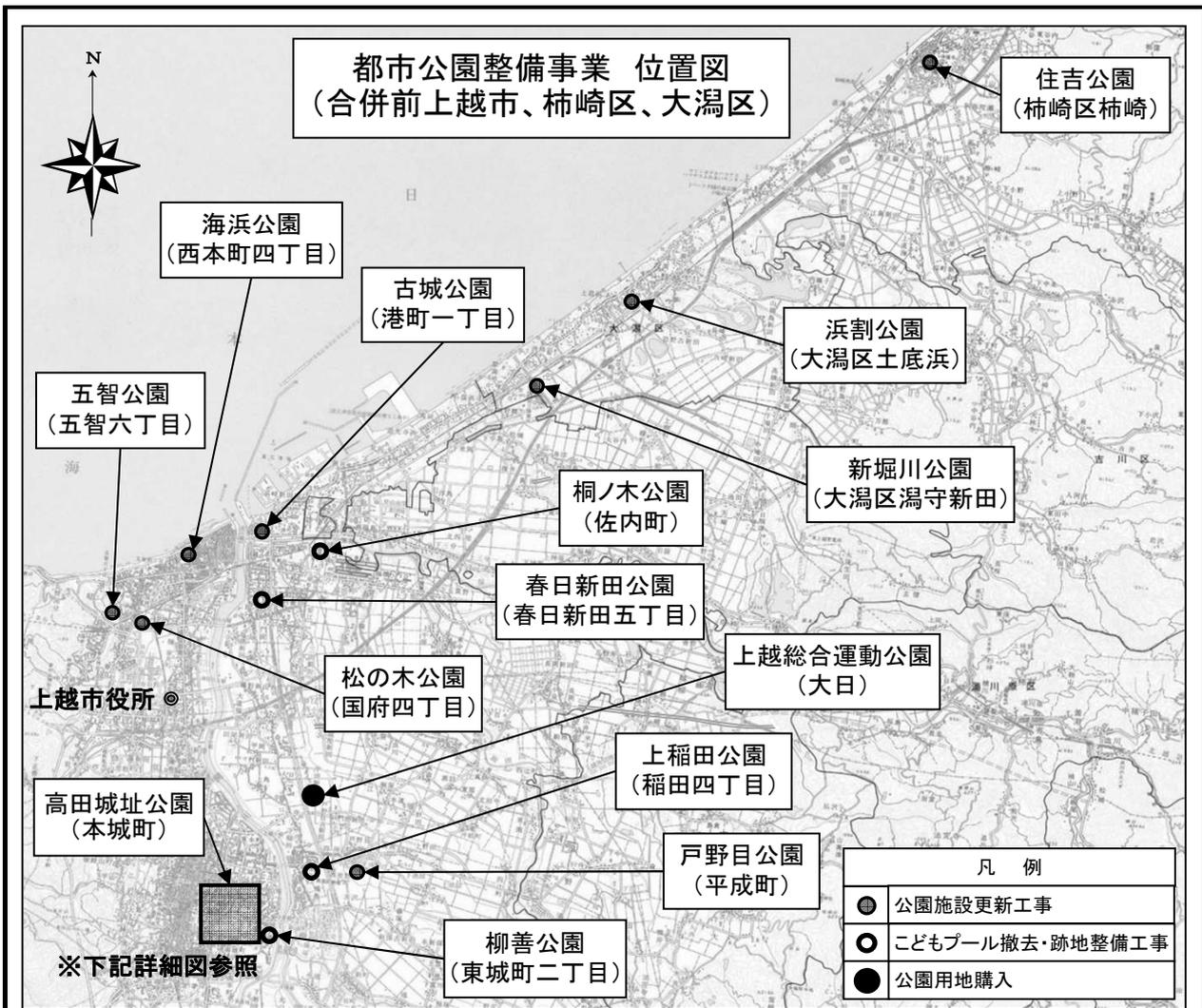
公園用地購入

公園名	施工地	実施内容	位置図 ページ
上越総合運動公園	大日	用地測量・調査 一式 不動産鑑定 一式 用地取得 A=3,431 m <sup>2</sup>	68

※ 66頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。  
ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和7年度1月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	令和6年度1月補 正予算額(※)	当初予算額	合計	
10,345	341,699	352,044	13,596	100,625	114,221	237,823

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。



歳出科目（P274～P275）	8款5項3目	公園費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公園管理費	223,634	208,581	15,053

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,994	諸収入	339
財産収入	4,575	市債	3,800
繰入金	22,109	一般財源	188,817
		報酬	25,412
		報償費	19,922
		需用費	48,686
		役務費	2,007
		委託料	108,537
		使用料及び賃借料	3,425

市民の憩いや交流の場として、安全で快適に利用できるよう都市公園等の維持管理を行うもの

○都市公園等の維持管理事業 204,845

【目的】

都市公園等の維持管理を適切に行い、良好な環境を提供する。

【実施内容】

- ・都市公園等の除草、清掃、樹木の管理（剪定、冬囲い等）を実施する。
- ・町内会等との協働によるパークパートナーシップ協定を締結した公園（134か所）は、町内会が除草、トイレ清掃、施設の日常点検を実施

地区名	管理公園数		管理面積	
		うち パークパートナ シップ		うち パークパートナ シップ
合併前上越市	140か所	104か所	238.1 ha	34.0 ha
柿崎区	3か所	1か所	13.9 ha	0.4 ha
大潟区	28か所	28か所	11.8 ha	5.1 ha
頸城区	5か所	1か所	3.2 ha	0.1 ha
合計	176か所	134か所	267.0 ha	39.6 ha

※都市公園等のうちパークパートナーシップ事業の実施割合 76.1%（134/176）

- ・公園施設（トイレ、ベンチ、照明灯、遊具等）は、年3回の施設点検や市民からの通報等により損傷や故障箇所の把握に努め、施設の使用に影響のある損傷等は速やかに修繕を実施する。
- ・令和7年度に実施した施設点検による劣化判定の結果に基づき、施設の修繕を実施するとともに、一部のトイレ施設においては、機能改善を図る。
- ・交通公園のゴーカートを運行する。

（運行日）4月から11月の土曜日、日曜日、祝日

ただし、7月25日から8月25日までは月曜日を除き毎日運行

○高田城址公園樹木保守管理事業 18,617

【目的】

高田城址公園内の桜や松を健全な状態で維持する。

【実施内容】

- ・高田城址公園桜長寿命化第三期計画に基づき、枝の剪定や土壌改良等による樹勢回復のための手当てを行うとともに、計画的な世代更新を図るための植替え等を実施する。
- ・市民ボランティア団体「桜プロジェクトJ」との協働により、桜の保全に取り組む。
- ・年次計画に基づき、薬剤の樹幹注入による松くい虫防除を実施する。

○地域独自の予算事業 172

・五智公園の環境保全、有効活用事業（直江津区）

五智公園の環境保全を継続して行い、価値や魅力を一層高めていくことを目的に、動植物の保護・育成、動植物紹介パネルの展示、リーフレットなどの作成、湿地・林床・遊歩道の保全活動等を行う。

実施主体：五智公園を育てる会

歳出科目（P274～P277）	8款5項4目	市街地整備費
-----------------	--------	--------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市街地整備事業	36,100	12,404	23,696

主な財源		主な経費	
国庫支出金	13,224	一般財源	15,776
県支出金	1,300	報償費	350
市債	5,800	旅費	140
		委託料	3,386
		工事請負費	13,332
		負担金補助及び交付金	
			18,892

立地適正化計画に基づき、都市機能及び定住基盤の充実とまちの魅力向上に向けた取組を推進するもの

○まちなか居住推進事業 35,809

【目的】

人口減少社会の中にあっても持続可能な都市を目指し、定住人口の増加に向けた取組により、まちなか居住を推進する。

【8年度目標】

協働のまちづくりについての継続的な周知や、まちなか居住が進まない都市基盤上の課題解決を図り、定住人口及びまちなか居住推進地区の増加に向けた取組を推進する。

区分	地区	町内会名
まちなか居住推進地区 (認定済)	高田	大町五丁目、南本町三丁目
	直江津	中央三丁目・天王町、中央四丁目・福永町

【実施内容】

- ・まちなか居住の取組を持続的に推進するため、まちなか居住推進地区の認定に向けた町内会からの相談や協議等は、親身になって対応し、必要に応じて助言を行う。
- ・これまでの「空き家マッチング制度」や「まちなか居住推進事業補助金制度」の取組を継続しながら効果検証を行い、必要に応じて制度の見直しを実施する。
- ・本事業の対象町内会において、まちづくりに関心を持てるように、本事業の取組事例をまとめた報告会の開催や、地域住民へニュースレターを配布する。
- ・高田地区において、狭あい道路の解消や不良街区の再編等、まちなか居住が進まない根幹的な課題解決に向けて、測量業務及び拡幅工事を実施する。

・まちなか居住推進事業補助金 18,622

区分	種別	補助率 基本限度額	主な補助対象要件
地区共通	空き家の片付け	1/2 200千円	・補助対象区域に空き家を所有（予定を含む）していること
	空き家の購入	1/2 1,000千円	・満40歳未満の人がいる世帯又は子育て世帯
	空き店舗等の利活用	1/2 1,000千円	・補助対象区域内における移転でないこと ・周囲との景観の調和に配慮すること
	雁木通りの街なみ形成	5/6 300千円/m	・上越市雁木整備事業補助金交付要綱に基づく指定地域で、かつ、法令に基づく地区指定等がされている区域であること
高田地区	お試し居住家賃	1/2 20千円/月	・他の公的制度の家賃助成を受けていない人
	空き家の賃貸用リフォーム	1/2 1,000千円	・耐震補強、防火耐火、その他住宅の防災上必要な工事を含むこと
	町家のリフォーム	1/2 1,000千円	・耐震補強、防火耐火、その他住宅の防災上必要な工事を含むこと
	町家の建替え	1/2 1,000千円	・町家を解体し、同一敷地内で建替えるもの
直江津地区	隣地統合	1/2 1,000千円	・敷地の利便性向上のため、隣地を統合し当該敷地内に存する空き家を解体するもの
	住宅のリフォーム	1/2 1,300千円	・子育て世帯 ・耐震補強、防火耐火、その他住宅の防災上必要な工事を含むこと
	住宅兼店舗等水回り改修	1/2 1,000千円	・住宅部分と店舗部分を分離し、店舗部分を貸し出すため、水回りを改修するもの

※補助対象区域は、立地適正化計画の誘導重点区域

※まちなか居住推進地区の認定により、各補助金の活用が可能

○地域独自の予算事業 270

[新]・高田エリアに特化した新規メディアによる情報発信・PR事業（高田区）

高田のまちの魅力と価値を高め、定住・交流人口を増やすとともに、地域への愛着を醸成するため、高田に根付く歴史や文化、まちの話題等のコンテンツを作成・発信するほか、まちづくりをテーマにトークイベントを開催する。

実施主体：Miraiyaプロジェクト

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P278～P279)	8款7項1目	住宅管理費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公営住宅管理運営費	163,905	163,424	481

主な財源		主な経費	
県支出金	27,860	報酬	6,991
使用料及び手数料	135,515	職員手当等	2,065
諸収入	530	需用費	81,774
		役務費	5,461
		委託料	59,109
		使用料及び賃借料	5,180

【目的】

公営住宅の施設・設備が常に良好な状態となるよう適正な維持管理を行い、入居者が安心・安全に暮らすことができる居住環境を提供する。

【実施内容】

・施設の修繕等に要する経費 78,322

実施項目	実施内容等	予算額
修繕・改修 住宅の建具 給排水設備 電気設備 屋根等	一般修繕 入居前修繕 92件 計画的修繕（箇所付け修繕） 給湯器修繕（県営） 5台 加圧給水ポンプユニット取替修繕 （市営南新町住宅5号棟） 雪下ろし用アンカー設置修繕 （コーポやすづか）ほか	72,266
畳入替え	ハイツ桜咲（吉川区） 16戸 市営旭住宅（名立区） 8戸 市営三和住宅（三和区） 10戸	4,026
住宅用火災報知器	市営南本町住宅 ほか 205個	2,030

・安心・安全を確保するための維持管理経費 29,123

実施項目	実施内容等	予算額
消防設備点検等業務委託	県営今泉住宅1号棟ほか68棟	14,019
エレベーター保守点検業務委託	市営子安住宅1号棟ほか11棟	8,268
自動ドア保守点検、LSAシステム点検業務委託	自動ドア …市営子安住宅1号棟ほか2棟 LSAシステム（単身高齢者生活援助支援） …市営子安住宅1・2号棟 …県営安江住宅D・E棟	638
遊具点検、貯水槽・浄化槽管理等業務委託	遊具…県営今泉住宅ほか6か所 貯水槽…市営南新町住宅1号棟ほか32棟 浄化槽…市営大島住宅ほか（空室分）	4,605
市営住宅定期点検業務委託	市営南新町住宅ほか11棟	1,593

・その他維持管理に要する経費 56,460

実施項目	実施内容等	予算額
会計年度任用職員の報酬、手当、共済費等	公営住宅維持管理員2人 公営住宅窓口業務等職員2人	10,890
修繕料	維持管理等業務用車両修繕	356
委託料	公営住宅システムサポート業務委託 公営住宅等休日夜間等緊急対応業務委託 住宅管理人委託45人 住宅システム改修業務委託 ほか	29,986
消耗品	粉末式消火器（入替え）ほか	701
保険料、使用料及び賃借料等	公営住宅火災共済掛金、公営住宅施設賠償責任保険料、土地借上料 ほか	14,527

(参考) 公営住宅の入居状況 (1月末現在)

(単位：戸)

住宅区分	棟数(棟)	管理戸数	入居戸数	空戸数	入居率(%)
市営住宅	114	688	469	219	68.2
改良住宅	5	270	243	27	90.0
県営住宅	32	617	449	168	72.8
特定公共賃貸住宅	34	154	121	33	78.6
市営賃貸住宅	4	40	25	15	62.5
合計	189	1,769	1,307	462	73.9

(参考) 公営住宅使用料収納状況比較 (12 月末時点)

(単位: 円)

住宅区分			調定額	収納額	未納額	収納率 (%)
市営住宅 (改良住宅 を含む)	R7	現年度	88,621,800	86,143,450	2,478,350	97.2
		過年度	24,394,234	2,941,000	21,453,234	12.1
		計	113,016,034	89,084,450	23,931,584	78.8
	R6	現年度	88,623,900	85,482,300	3,141,600	96.5
		過年度	24,182,018	2,359,384	21,822,634	9.8
		計	112,805,918	87,841,684	24,964,234	77.9
特定公共 賃貸住宅	R7	現年度	49,406,100	48,763,800	642,300	98.7
		過年度	90,200	90,200	0	100.0
		計	49,496,300	48,854,000	642,300	98.7
	R6	現年度	50,062,600	49,322,600	740,000	98.5
		過年度	296,800	86,900	209,900	29.3
		計	50,359,400	49,409,500	949,900	98.1
市営賃貸 住宅	R7	現年度	6,861,300	6,763,300	98,000	98.6
		過年度	91,593	69,700	21,893	76.1
		計	6,952,893	6,833,000	119,893	98.3
	R6	現年度	7,209,500	7,099,200	110,300	98.5
		過年度	258,602	227,009	31,593	87.8
		計	7,468,102	7,326,209	141,893	98.1
合 計	R7	現年度	144,889,200	141,670,550	3,218,650	97.8
		過年度	24,576,027	3,100,900	21,475,127	12.6
		合 計	169,465,227	144,771,450	24,693,777	85.4
	R6	現年度	145,896,000	141,904,100	3,991,900	97.3
		過年度	24,737,420	2,673,293	22,064,127	10.8
		合 計	170,633,420	144,577,393	26,056,027	84.7

歳出科目（P278～P279）	8款7項1目	住宅管理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
空き家等管理促進事業	55,069	26,628	28,441

主な財源		主な経費	
国庫支出金	17,639	報酬	1,896
県支出金	4,200	委託料	31,798
諸収入	500	共済費	408
		役務費	486
		負担金補助及び交付金	19,304

防災、防犯、衛生、景観等の市民の生活環境を保全し、魅力あるまちづくりの推進に寄与するため、空き家等の適切な維持管理及び利活用の促進を図るもの

○空き家等管理促進事業 53,107

【目的】

空き家の所有者等が行う「適正管理」や「利活用」を支援するとともに、「空き家化予防」に向けた取組等を実施し、市民の安心・安全な生活を確保する。

【8年度目標】

- ・令和8年度から始まる「第3期空き家等対策計画」に基づき、除却・利活用等の支援制度の周知を図るほか、特定空き家等の所有者等に対する取組を通じ、特定空き家等の削減に努める。
- ・空き家情報バンク制度の運用や空き家対策セミナーの開催などを通じて利活用と空き家化予防の取組を進め、空き家の解消と発生の抑制に努める。

【実施内容】

- ・上越市空き家等対策協議会を開催し、「特定空き家等」及び「管理不全空き家等」の認定等を行うとともに、所有者に対し必要な措置を講じるよう助言・指導等を行う。
  - ・周辺の生活環境の保全のため放置することが著しく不適切と認められる場合には、代執行を含め、除却に向けた必要な措置を講ずる。
  - ・空き家等の解消や有効活用を促進するため、空き家化予防の取組や空き家情報バンクを運用するほか、各種補助金を交付する。
- [新]・空き家等管理活用支援法人に委託して空き家等の所有者及び管理者を対象とした相談窓口を設置し、所有者等が抱える疑問や課題に寄り添った継続的な支援を行う。
- [充]・空き家化の予防や利活用を促進するため、空き家等の所有者や将来的に所有する可能性がある人等を対象に、セミナーを開催する。

・空き家の除却及び利活用の支援

区 分	補助金額等	件 数	補助対象要件
特定空き家等 除却費補助金	補助率 1/2 上限 500 千円	5	低所得者世帯による特定空き家等の除却
空き家等 除却費補助金	補助率 1/2 上限 500 千円	1	跡地が地域活性化に供される空き家等の除却
空き家定住促進 利活用補助金	補助率 1/3 上限 2, 200 千円	8	移住に伴い購入した空き家のリフォーム（県外からの移住、子育て世帯等へは補助額を加算）
定住促進生家等 利活用補助金	補助率 1/3 上限 2, 200 千円	3	移住に伴う生家等のリフォーム（県外からの移住、子育て世帯等へは補助額を加算）
空き家活用のための家財道具等処分費補助金	補助率 1/2 上限 100 千円	3	「空き家情報バンクに登録する空き家」の家財道具等の処分

(参考) 空き家情報バンク運用状況等

(単位：件)

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度 (12 月末現在)
無料相談会開催回数	25	24	21
無料相談会相談件数	48	95	67
空き家情報バンク登録件数	64	72	50
成約件数	39	36	42

○地域独自の予算事業 1, 962

・地域活性化のための空き家利活用推進事業（柿崎区）（1, 744）

柿崎区内における空き家の利活用を進め、柿崎区内への移住・定住を促進するとともに、地域の活性化と生活環境を維持するため、空き家情報バンクの登録補助や空き家相談、柿崎の魅力発信などの空き家利活用推進事業を実施する。

実施主体：かきざき空き家利活用協議会

・中郷区空き家相談窓口設置事業（中郷区）（218）

中郷区内の放置空き家や危険空き家の増加の予防と空き家に関する不安の早期解消を目指すため、地域団体による相談窓口を常設する。

実施主体：市（提案団体：一般社団法人中郷区さとまる学校）

歳出科目（P278～P281）	8款7項1目	住宅管理費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
町家シェアハウス管理運営費	1,101	1,080	21

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	225	需用費	697
諸収入	876	役務費	10
		委託料	118
		使用料及び賃借料	272
		負担金補助及び交付金	4

### 【目的】

入居者と地域住民との交流を通じ、地域の活性化と町家の市場流通の促進を図る。

### 【8年度目標】

- ・シェアハウス大町の適切な維持管理に努める。
- ・地域の活性化に向け入居者と地域住民との交流を支援する。

### 【実施内容】

- ・定期的に施設の点検を行い、入居者へ快適な居住環境を提供する。
- ・共同生活の不安の解消に努めるため、定期的に入居者と面談を行うとともに、町内会との共同行事の実施に向けた支援を行う。
- ・入居が常に満室（定員5名）となるよう、市ホームページでの募集や大学等への訪問を行うなど、引き続き入学予定者や現役学生に対し周知を図る。

(参考) 年度当初の入居者数 (単位：人)

年 月	入居者数
平成29年9月（開設時）	1
平成30年4月	5
平成31年4月	5
令和2年4月	5
令和3年4月	4
令和4年4月	4
令和5年4月	3
令和6年4月	3
令和7年4月	3
令和8年4月（予定）	2

歳出科目（P 280～P 281）	8 款 7 項 2 目	住宅整備費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
公営住宅整備事業	214,429	86,470	127,959

主な財源		主な経費	
国庫支出金	105,412	委託料	8,215
市債	104,000	工事請負費	200,915
一般財源	5,017	補償、補填及び賠償金	5,299

### 【目的】

公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設・設備の改修等を行い、入居者の居住環境の維持・向上を図る。

### 【8 年度目標】

工事については、早期に発注し、12 月末までに完了する。

### 【実施内容】

・委託料 8,215

委託名	委託概要	予算額
市営津止住宅排水管改修工事監理業務委託	市営津止住宅排水管改修工事に関する施工監理業務	3,531
アスベスト検体検査	次年度以降に改修工事を予定している公営住宅の外壁吹付材についてアスベスト含有の有無を確認	449
市営南本町住宅 6 号棟排水管改修工事設計業務委託	次年度に計画している市営南本町住宅 6 号棟の排水管改修工事に係る設計業務	4,235

・工事請負費 200,915

工事名	工事概要	施設概要	予算額
市営津止住宅排水管改修工事	排水管改修	平成 4 年度建設・1 棟 18 戸 鉄筋コンクリート造 3 階建て	52,205
市営中通住宅 1・2・3・4・5 号棟及び集会所 LED 化工事	蛍光灯器具の LED 化	昭和 63 年度～平成 10 年度建設 5 棟 68 戸 鉄筋コンクリート造 3・4 階建て	28,138
港町特定公共賃貸住宅 LED 化工事	蛍光灯器具の LED 化	平成 13 年度建設・1 棟 35 戸 鉄筋コンクリート造 14 階建て	24,399
市営南新町住宅 6 号棟解体工事	用途廃止施設の解体	昭和 34 年度建設・1 棟 18 戸 鉄筋コンクリート造 3 階建て	96,173

・補償、補填及び賠償金 5,299

項目	概要	予算額
市営津止住宅排水管改修工事に伴う入居者移転補償料	市営津止住宅排水管改修工事に伴う入居者の一時的な移転に対する補償料 ※同一棟内の空き室を利用し移転予定	5,299

歳出科目（P280～P281）	8款7項2目	住宅整備費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住宅リフォーム促進事業	5,003	72,975	△67,972

主な財源		主な経費	
一般財源	5,003	役務費	3
		負担金補助及び交付金	5,000

市内経済の活性化と市民の居住環境の向上を図るとともに、災害に強いまちや子育てしやすいまちの実現に向けて、住宅リフォーム工事を支援するもの（一般枠及び子育て・若者夫婦世帯支援枠については、令和7年度補正予算で措置済）

○住宅リフォーム促進事業（連たん家屋防火対策枠） 5,000

【目的】

災害に強いまちづくりを推進するため、連たんしている家屋の防火対策工事を支援することにより、建物密集地における延焼火災による被害の減少を図る。

【8年度目標】

連たんしている家屋の防火対策の普及に向け、広報等を活用して制度の周知を図るとともに、防火対策工事を支援することで安心・安全な居住環境の実現に寄与する。

【実施内容】

- ・防火対策工事に要する経費の一部を補助する。
  - (1)補助率 対象工事費の50%（40千円以上（税込）の工事）
  - (2)補助限度額 1,000千円
  - (3)補助対象住宅 準防火地域の中で連たん（敷地境界線から50cm未満の距離にある木造住宅）している住宅

(参考) 制度一覧

住宅リフォーム促進事業				
区分	連たん家屋 防火対策枠	一般枠（令和7年 度補正分）	子育て・若者夫婦世帯支援枠 （令和7年度補正分）	
予算額	5,000千円	50,000千円	20,000千円	
補助率・ 補助額	補助率：50% 限度額：1,000 千円	補助率：20% 限度額：100千円	（子育て部分） 補助率：50% 限度額：400千円	（一般部分） 補助率：20% 限度額：100千円
			合計補助限度額：500千円	
補助対象 経費	防火に資する 工事（40千円 （税込）以上の 工事）	住宅の一部の改 築又は増築工事 など（100千円（税 込）以上の工事）	（子育て部分） 子育てに対応した 工事及び家事負担 軽減のための工事 （40千円（税込） 以上の工事）	（一般部分） 住宅の一部の改 築又は増築工事 など（100千円 （税込）以上の工 事）
対象地域	準防火地域	市内全域		
募集期間 （予定）	令和8年4月1 日から予算額 に達するまで	令和8年3月11日から令和8年4月23日まで （募集期間中に申請額が予算額に達した場合は、抽選を実 施する。予算額に達しなかった場合は、募集期間後も引き 続き予算額に達するまで申請を受け付ける。）		

※ 81頁の表中「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和7年度1月補正 予算額（※）	当初予算額	合計	令和6年度1月補 正予算額（※）	当初予算額	合計	
73,086	5,003	78,089	0	72,975	72,975	5,114

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の額を示す。

歳出科目（P280～P281）	8款7項3目	住宅対策費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
木造住宅耐震化支援事業	11,580	14,960	△3,380

主な財源		主な経費	
国庫支出金	4,731	委託料	5,280
県支出金	3,025	負担金補助及び交付金	
一般財源	3,824		6,300

### 【目的】

いつどこで発生するかわからない地震から市民の生命と財産を守り、安心・安全な暮らしを実現するため、耐震化に係る支援を行い、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図る。

### 【8年度目標】

- ・令和6年能登半島地震における死亡者の多くが住宅倒壊による圧死や窒息死であったことから、倒壊被害を減少させるうえで最も効果的な取組である耐震改修等の支援を引き続き行うことにより、市民の生命と財産を守る。

### 【実施内容】

- ・耐震診断及び耐震改修等の支援

区分	補助金額等	件数	補助対象要件等
耐震診断	市民の費用負担無し	50	市が委託した診断員を派遣
耐震改修 (全体改修)	補助率 4/5 上限 1,400 千円	2	木造住宅の耐震改修工事に要する経費の一部を補助
耐震改修 (部分改修)	補助率 4/5 ・1回目 上限 800 千円 ・次年度以降の2回目 上限 600 千円	1	
耐震シェルター等	補助率 1/2 上限 300 千円	4	耐震シェルター及び耐震ベッドの設置工事に要する経費の一部を補助
除却	補助率 23/100 上限 300 千円	5	木造住宅の除却工事に要する経費の一部を補助

(参考) 木造住宅耐震化支援事業の実施状況

(単位：件)

年度 区分	H16～H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (見込)
耐震診断	443	9	8	8	9	11	94	61
耐震設計	34	0	1	0	-	-	-	-
耐震改修(全体)	34	1	1	-	-	-	0	2
耐震改修(部分)	-	-	-	-	-	-	0	0
耐震シェルター等	0	1	0	0	-	-	4	1
除却	-	-	-	-	-	-	3	5

※「-」は、補助対象事業がない年度を示す。

※令和6年度以降の耐震改修は耐震設計を含めることができる制度となっている。